(エーヒィス)



Web型電子カルテ

ユーザーズガイド① (基本操作)



(改訂履歴)

- ●2016年06月 第1版
- ●2017年04月 第2版 ([15. 食事オーダーの入力]の追加に伴う修正など)
- ●2018年05月 第3版

(ご注意)

- 1. 本書およびプログラムの内容の一部または全部を弊社に無断で複製することは、法律で禁止されています。
- 2. 本書およびプログラムの内容は、予告なく変更されることがあります。
- 3. 本書およびプログラムの内容は、万全を期して作成しておりますが、お分かりにくい点などがございましたら、 ご連絡くださいますようお願いいたします。
- 4. 本プログラムのご使用にあたり発生した結果につきましては、弊社は一切の責任を負いかねます。
- ※Windowsは、Microsoft Windows Operating Systemの略称として表記しています。
- ※Microsoft Windowsは、米国Microsoft Corporationの登録商標です。
- ※また、本書に記載されている各製品の名称は、各メーカーの登録商標です。

Copyright (C) 2016-2017 Aits corp. All rights reserved.

目次

1.	ログイン	
	システムを起動する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	8
	ログインする	9
	ポータルの表示 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1 0
	ログアウトする	1 2
	システムを終了する	1 3
2.	受付 ····································	
	受付患者を新規登録する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1 4
	受付患者を訂正する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1 7
	診察区分を変更する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1 9
	受付患者を削除する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2 1
	受付リストからカルテを開く	2 2
	終了済み患者をチェックする ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2 3
	診察終了のお知らせチェック ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2 4
	オプション設定をする ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2 5
3.	問診票の管理	
	問診票を新規登録する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	28
	問診票を訂正する	3 1
	問診票を削除する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3 3
	問診票を患者毎に表示する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3 4

4. カルテの基本操作

5.

患者番号を選択してカルテを表示する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3 6
ステータスモニタで対応している別の患者を表示する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3 8
カルテを時系列毎に管理する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3 9
過去カルテを参照にする ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4 1
既往歴カルテを作成する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4 3
常用薬と禁忌薬を登録する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4 6
新しいカルテを作成する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5 0
カルテを削除する (ゴミ箱へ) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5 5
削除したカルテを復元する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5 6
カルテを追記する	5 7
カルテの日付・時刻を変更する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5 9
入力中のカルテを一旦保留にする ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6 1
主訴・所見の入力	
直接入力する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6 6
登録単語から選択入力する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6 7
新しい単語を登録する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6 8
定型文から選択入力する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7 1
検査結果データを転記する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7 4
シェーマを入力する	7 7
画像を入力する	8 0
画像を編集する	8 3

6. 処置・処方の入力(共通)

オーダーを新規に入力する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	. 92
セットからオーダーを新規に入力する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 94
指示伝票からオーダーを新規に入力する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	. 96
前回DOによりオーダーを新規に入力する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	. 98
オーダー行を挿入する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	100
オーダーを1明細だけ削除する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	102
オーダーを区分ごと削除する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	103
オーダーをすべて削除する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	104
7. 診察料の入力	
診察料(初診・再診)を入力する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	106
8. 処方をオーダーする	
8. 処方をオーダーする 処方を新規に入力する · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	108
	108
処方を新規に入力する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
処方を新規に入力する ····································	116
処方を新規に入力する ····································	116
処方を新規に入力する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1 1 6 1 1 7 1 1 8
処方を新規に入力する (処方の入力後に) 用量を修正する (処方の入力後に) 日数を修正する (処方の入力後に) 薬剤を修正する (処方の入力後に) 薬剤を修正する (処方の入力後に) 用法を修正する	1 1 6 1 1 7 1 1 8 1 1 9
処方を新規に入力する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1 1 6 1 1 7 1 1 8 1 1 9 1 2 0
処方を新規に入力する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1 1 6 1 1 7 1 1 8 1 1 9 1 2 0 1 2 1
処方を新規に入力する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1 1 6 1 1 7 1 1 8 1 1 9 1 2 0 1 2 1 1 2 2

9. 注射をオーダーする

注射を新規に入力する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	130
注射箋を発行する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1 3 6
注射の訂正オーダーを入力する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1 3 7
注射の中止オーダーを入力する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1 3 9
その他注射を入力する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1 4 1
曜日や日付を指定したオーダーを入力する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1 4 4
投与中止日を設定する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1 4 8
O. 検査をオーダーする	
検査を新規に入力する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	150
検査依頼票を発行する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	152
検査の訂正オーダーを入力する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	153
検査の中止オーダーを入力する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	155
至急の検査をオーダーする ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	157
外注検査依頼データを入力する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	159
1. X線をオーダーする	
X線を新規に入力する ······	164
X線依頼票を発行する ······	166
X線の訂正オーダーを入力する ·····	167
X線の中止オーダーを入力する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	170

12. 処置をオーダーする 172 処置箋を発行する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 174 処置の訂正オーダーを入力する ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 175 処置の中止オーダーを入力する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 177 13. リハビリをオーダーする リハビリを新規に入力する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 180 リハビリテーション依頼票を発行する ・・・・・・・・・・・・・・・・ 182 リハビリの訂正オーダーを入力する ・・・・・・・・・・・・・・・・ 183 リハビリの中止オーダーを入力する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 185 14. 在宅料や自費などを入力する 文書料を入力する ・・ 193 15. 食事オーダーの入力 食事オーダーを入力する 196 変更オーダーを入力する 200 欠食オーダーを入力する 204

208

2 1 2

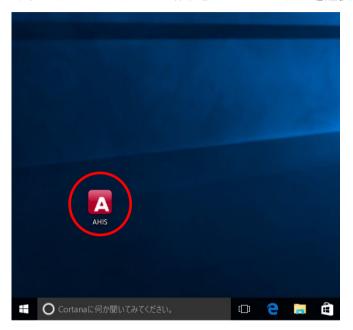
絶食オーダーを入力する

退院オーダーを入力する

1 - ログイン

システムを起動する

(1) ウィンドウズのデスクトップに作成されたAHISアイコンを選択してください。



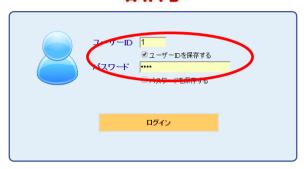
(2)ブラウザが起動されて、ログイン画面が表示されます。

ユーザーID ロューザーDを保存する
パスワード リスワードを保存する

ログインする

(3)あらかじめ登録された[ユーザーID](半角数字)と[パスワード](半角英数記号)を 入力してください。

AHIS



9

IDとパスワードの入力時に[ENTER]キーで確定するとカーソルの移動とログインの実行が素早く出来ます。

(4)[ログイン]ボタンをクリックする、もしくは[ENTER]キーで確定します。

AHIS



9

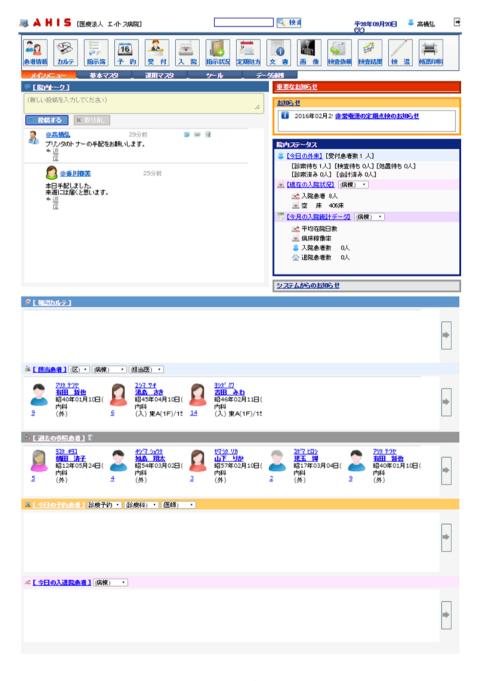
複数の職員で共有するパソコンで利用される場合は、IDとパスワードを 保存するにチェックしないようにしてください。

9

ポータルの表示

(1)システムにログインすると、まず最初に院内ポータル画面が表示されます。

ここでは必要な情報がアウトラインとして表示され、システムの各機能を呼び出すためのメニューが配置されています。



(2)メニュー表示では最初にメインメニューが表示されます。 このメインメニュー以外のタブをクリックします。



(3)このようにタブの上側に表示するメニューを切り替えることが出来ます。

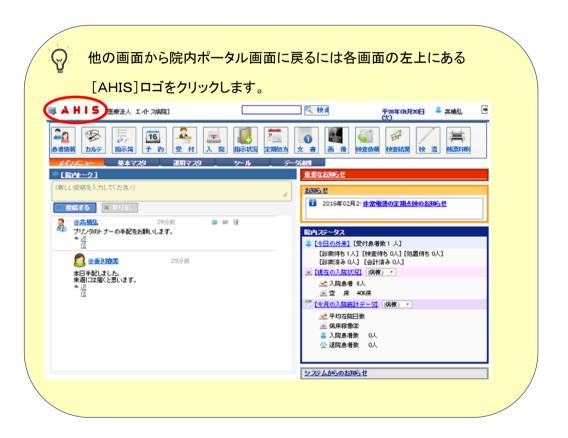


1 - ログイン

ログアウトする

(1)システムを終了する場合や入力職員(ユーザー)が変わる場合にはポータル画面に戻り、ポータル画面の右上にある[ログアウト]ボタンをクリックします。





システムを終了する

(1)ログアウト後、ログイン画面に戻った状態でブラウザを閉じます。(ブラウザの右上にある[×]をクリックします)



2 - 受付

ここでは主に受付窓口での基本業務となる(外来)受付状況の管理方法について説明します。 窓口にて受付患者を登録することで診察室を含めた各部門間での受付状況をリアルタイム で共有することができます。

電子カルテを導入して紙カルテを廃止した場合、各部門間での紙カルテの移動がなくなって しまうため、外来での患者さんの「状況(診察中・検査中・会計待ちなど)」や「動き(院内の どこにいるのかなど)」が非常に把握しづらくなってしまいます。そのような場合ここで説明 する受付状況画面を利用することで、現在の患者さんの最新の状況を把握することが 可能になります。

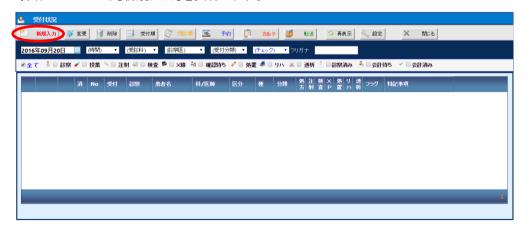
受付患者を新規登録する

(1)メインメニューから[受付]を実行します。



(2)受付状況画面が表示されます。

操作メニューから[新規入力]を実行します。



(3)受付データ入力(新規)画面が表示されます。

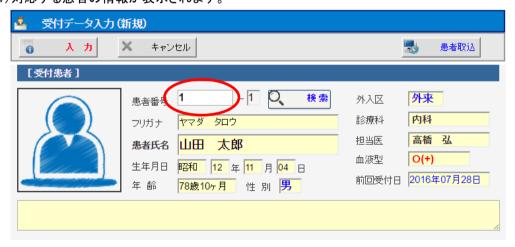
受付情報を入力する患者の番号を入力するか、または[検索]を実行します。



Q

医事会計システムに「ORCA」を利用されている場合は、「ORCA」の [受付]機能と連動することができますので、「AHIS」で受付登録を行うと 「ORCA」の受付状況に反映されます。

(4)対応する患者の情報が表示されます。



2 - 受付

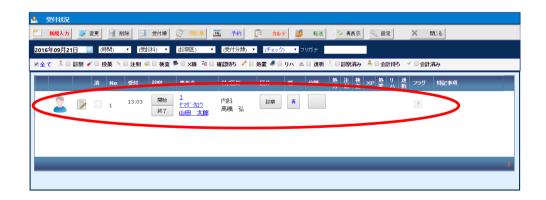
(5)(初診・再診)に加えて、[受診科]と[診察医]は必ず設定します。 「受診科]と[診察医]を設定し終わったら操作メニューから[入力]を実行します。



9

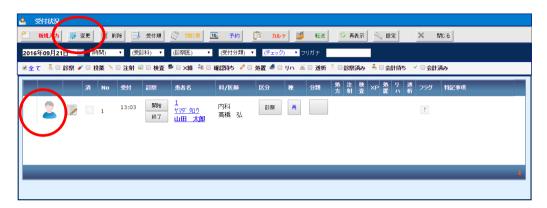
ここで[診察医]を設定することで、各ドクターがカルテを開いたときに自分の診察待ち患者のみが表示されるようになります。

(6)受付状況画面に戻ると登録した受付患者がリストに表示されます。



受付患者を訂正する

(1)受付状況画面から訂正したい患者(行)を選択し、操作メニューの[変更]を実行します。

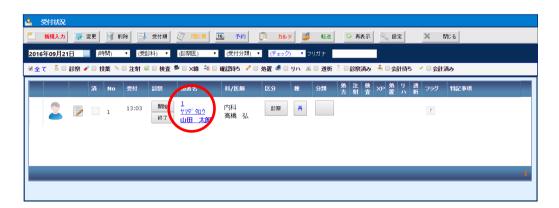


Q

【行の選択方法】

各行の行セレクターをクリックすることによりその行が反転表示され、 行が選択されます。

※下図のように、訂正したい患者(行)のメモアイコンをクリックすることにより、 ワンタッチで訂正する患者を選択することもできます。



(2)受付データ入力(変更)画面が表示されます。

訂正したい箇所を変更してから[更新]ボタンを実行します。

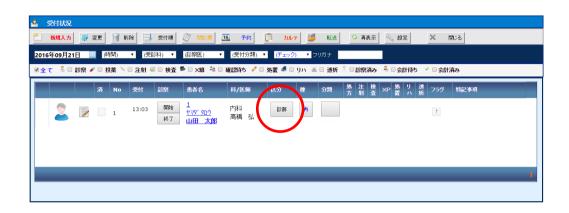


(3)受付状況画面に戻ると訂正した受付患者がリストに表示されます。



診察区分を変更する

(1)受付状況画面で、区分を変更したい患者(行)の区分列にあるボタンをクリックします。



(2)「診察区分の変更」画面が表示されます。

下図のように変更したい区分をクリックしてから[選択確定]ボタンをクリックします。



2 - 受付

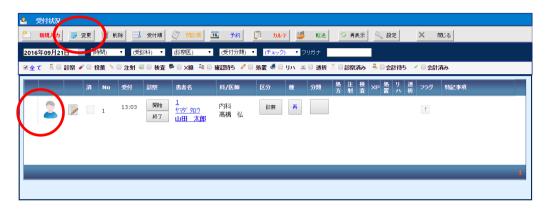
(3)受付状況画面に戻ると診察区分を変更した受付患者がリストに表示されます。



※ここで説明した[診察区分]の他にも、[診察種別]および[受付分類]も同様に登録 した後から分類のみ変更できます。

受付患者を削除する

(1)受付状況画面から削除したい患者(行)を選択し、操作メニューの[削除]をクリックします。



(2)下図のような「削除確認」メッセージが表示されますので、削除してもいい場合は [はい]をクリックします。



(3)受付状況画面に戻るとリストから受付患者が削除されています。

受付リストからカルテを開く

(1)受付状況画面から、患者名をクリックします。

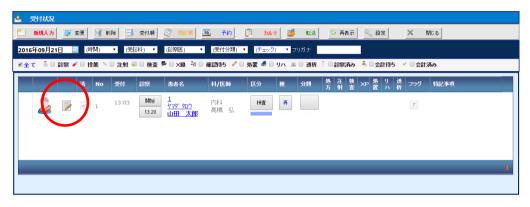


(2)カルテ画面に選択された患者が表示されます。

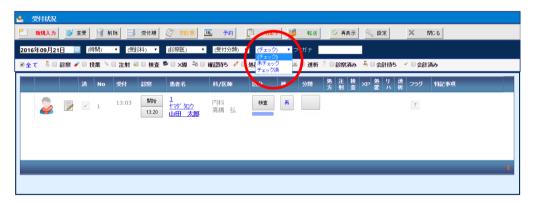


終了済み患者をチェックする

(1)受付状況画面で、「終了済み患者」として設定したい患者(行)のチェックボックスをチェックします。



(2)診察室や受付窓口などで、「チェック済みの患者はリストに表示させたくない」というような場合には、[検索条件]の[チェック]を[未チェック]に設定すると、リストには未チェック患者のみ表示されます。



診察終了のお知らせチェック

受付状況画面の[設定]ー(端末設定)ー[チェック動作設定]ー[診察終了のお知らせ チェック]が有効になっている場合、下図のように診察区分が診察済みに変更されたと 同時に、画面にアラートがポップアップします。

[会計待ちに設定する]をクリックすることにより、診察区分が会計待ちとなり、アラートが解除されます。



この機能は主に、[診察室]と[受付窓口]が連携して、診察が終わった患者の情報をリアルタイムで「窓口の端末」に通知したい場合に利用します。

オプション設定をする

(1)受付状況画面の操作メニューから[設定]をクリックします。



(2)受付状況オプション設定画面が表示されます。



①(院内共通設定)

ここで設定された内容はAHIS全体での設定となります。

■[全般設定]

[受付時間]

「検索条件]-(時間){午前}・{午後}に対応する時間を設定します。



[(受付)登録時の自動転送]

医事会計システムに「ORCA」を利用されている場合、この項目にチェックを チェックを入れると、本システムで受付登録を行うと医事会計システムに受 付情報が自動で転送されます。

②(端末設定)

ここで設定された内容は端末個別の設定となります。

■[全般設定]

[受付状況の更新チェック間隔]

… 受付リストを自動更新するまでの間隔(秒数)を設定します。 ※リストの更新間隔を調整したい場合に使用します。

[受付状況リストの並び順]

- … 受付リストの並び順を設定します。
 - (1) [受付時間(昇順/降順)] 受付患者を登録した時間
 - (2) [終了時間(昇順/降順)] 診察済みチェックをした時間
 - (3)[受付番号(昇順/降順)] 受付登録時の番号

■[チェック動作設定]

[診察終了のお知らせチェック]

··· 診察済みチェックの実行後に、受付窓口の端末でメッセージを表示させる場合に設定します。

[メッセージと同時にアラーム音を鳴らす]

… メッセージの表示に加えてアラーム音を鳴らしたりしたい場合に設定 します。

[診察区分の切替チェック]

診察区分が診察済みだけでなく任意の区分に切り替わったときに、受付窓口の端末でメッセージを表示させる場合に設定します。

(例:検査に変わったらメッセージを表示させる。)

[メッセージと同時にアラーム音を鳴らす]

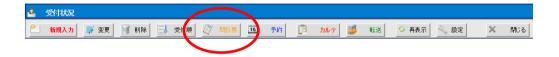
… メッセージの表示に加えてアラーム音を鳴らしたりしたい場合に設定 します。

3 - 問診票の管理

診察室と受付窓口が連携した問診票の入力方法と運用手順について説明します。 また、問診票を一元的に管理する問診票データ管理画面について説明します。

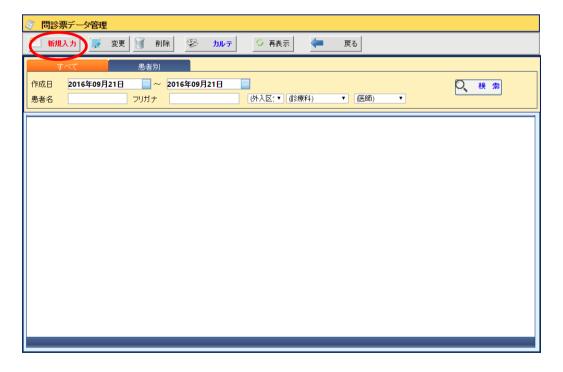
問診票を新規登録する

- (1)あらかじめ患者様の記入した問診票をスキャナ等で取り込み、イメージファイルとして保存しておきます。
- (2)受付状況画面の操作メニューから[問診票]をクリックします。



(3) 問診票データ管理画面が表示されます。

操作メニューから[新規入力]をクリックします。

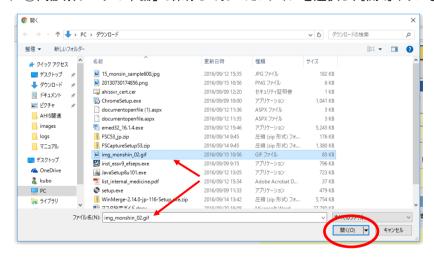


(4) 問診票入力(新規) 画面が表示されます。

[ファイルを選択]を実行します。



(5)「①問診票データの準備」で保存しておいたファイルを選択し、[開く]ボタンをクリックします。



3 - 問診票の管理

(6)操作メニューから[入力]をクリックします。



(7) 問診票データ管理画面に戻ると登録した問診票がリストに表示されます。



問診票を訂正する

(1)問診票データ管理画面から訂正したい問診票(行)を選択し、操作メニューの [変更]をクリックします。



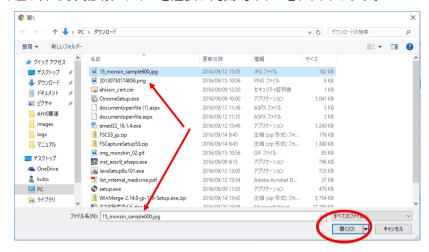
(2)問診票入力(変更)画面が表示されます。

訂正する問診票ファイルを選択するため[ファイルを選択]ボタンをクリックします。



3 - 問診票の管理

(3)差し替える問診票ファイルを選択し、「開く」ボタンをクリックします。



(4)問診票入力(変更)画面に選択したファイル名が表示されていることを確認し、 操作メニューから「更新]をクリックします。



(5) 問診票データ管理画面に戻ると訂正した問診票がリストに表示されます。

問診票を削除する

(1)問診票データ管理画面から削除したい問診票(行)を選択し、操作メニューの[削除]をクリックします。



(2)下図のような「削除確認」メッセージが表示されますので、削除してもいい場合は [はい]をクリックします。



(3) 問診票データ管理画面に戻るとリストから問診票が削除されています。

3 - 問診票の管理

問診票を患者毎に表示する

(1)AHISで管理しているすべての問診票が対象になります。

必要により検索条件を指定することで必要な問診票を検索することができます。



(2)特定の患者の問診票が対象になります。

主に診察時に現在診察中の患者の問診票を表示する場合に使用します。



3 - 問診票の管理

4 - カルテの基本操作

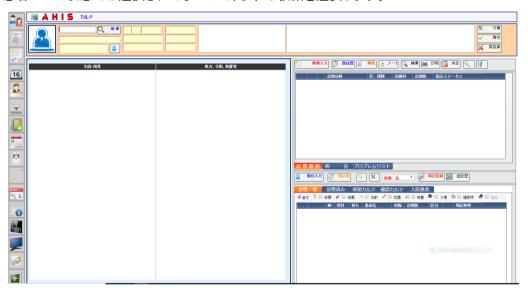
患者番号を選択してカルテを表示する

(1)メニュー一覧から[カルテ]をクリックします。



(2)カルテ画面が表示されます。

患者がこの状態では選択されてないので、まずは検索を選択します。



(3) 患者検索画面が表示されるので、必要に応じて検索条件を入力して[ENTER]キーで確定するかまたは[検索]ボタンを実行します。

カナ名称や漢字名称ではあいまい検索が可能です。

検索し終わったあと、カルテを表示したい患者を選択します。



(4)このようにカルテ管理画面が表示されます。

またカルテ画面は大きく3つに分かれており、

- ①受付状況画面で登録された患者の状況を区分ごとに表示する[ステータスモニタ]
- ②カルテの作成履歴を表示する「カルテ作成履歴エリア」
- ③過去のカルテを表示する[過去カルテ表示エリア]
 - の3つに大きく分かれます。



ステータスモニタで対応している別の患者を表示する

前ページで説明したステータスモニタでは「受付状況」画面で登録された受付患者の状況を、それぞれの区分別(診察・投薬・注射・処置・検査・X線・確認待)にリアルタイムに確認するために利用します。

- ※担当医師別に表示できますので現在入力中のドクターの担当患者だけが 常時表示されるようになっています。
- (1)呼び出したい患者(行)の患者アイコンまたは患者名を選択します。



(2)カルテの患者情報が選択した患者に変わります。



カルテを時系列に管理する

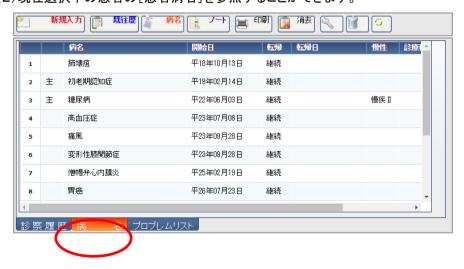
過去のカルテの作成履歴データを時系列に一覧リストの形式で表示されます。 また、その他に[病名]および[プロブレムリスト]の表示や入力もここで切り替えて利用する こともできます。

(1)カルテの作成(更新)履歴を時系列に一覧表示します。

カルテの作成日時(診察日時)や、「追記の有無」および「更新日時」などを管理します。



(2)現在選択中の患者の[患者病名]を参照することができます。



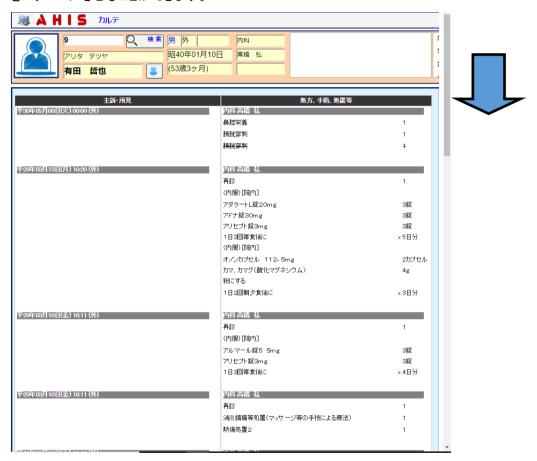
※病名の詳しい入力方法などは、後のページにて説明します。

(3)現在選択中の患者の[プロブレムリスト]を参照することができます。



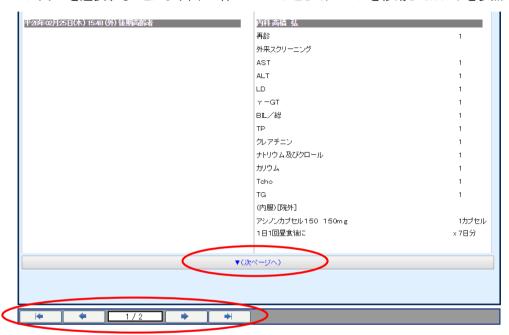
過去カルテを参照する

(1)ブラウザのスクロールバーを上下にドラッグするかまたは、ホイールマウスを 利用されている場合はカルテ上でマウスホイールを上下させることで、過去カルテ をスクロールさせることができます。



(2) [過去のカルテ]として一度に表示可能なカルテは最大で10件までとなっており、 過去カルテが10件を超える場合は、下図ように(最終行に)[次ページへ]ボタンが 自動表示されるようになっています。

このボタンを選択することにより、(10件=1ページとして)ページを移動してカルテを参照できます。



(3)複数ページ存在するような場合は最下部のページ切替ボタンで移動することも可能です。

既往歴カルテを作成する

本システムでは、通常の(2号用紙の)カルテと別々にして「既往歴」を作成・管理することができます。

そのため、通常のカルテとは入力手順は若干異なりますが基本的な操作方法は共通です。 また、一旦作成された「既往歴」は「過去カルテ」と同様に、カルテの作成中でも後から 参照することができます。

(1)カルテ画面の作成履歴エリアの操作メニューから[既往歴]をクリックします。



(2)カルテ既往歴画面が表示されます。

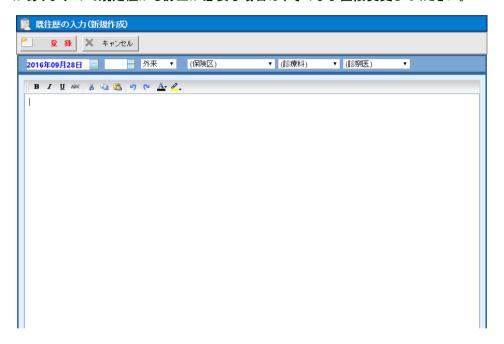
操作メニューから[新規作成]をクリックします。



(3)既往歴の入力(新規作成)画面が表示されます。

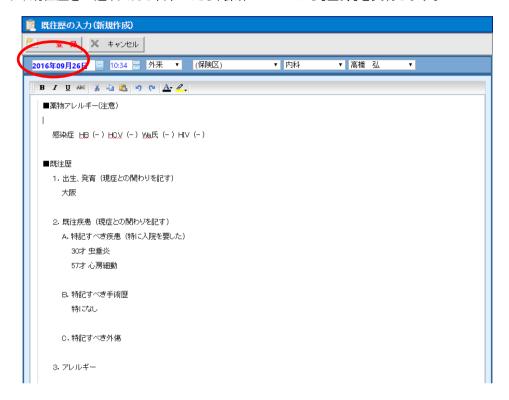
入力方法に関しては一般的なワープロと同様の方法で、記入内容をテキスト形式で 入力していきます。

また、編集領域の上部にある[基本情報]欄の中に[記入日時]や[医師]などの項目がありますので規定値から訂正が必要な場合は、そのまま直接変更してください。



通常のカルテ(2号用紙)にまとめて既往歴も入力して管理するような場合は、特に既往歴カルテを必ず作成する必要はありません。

(4)既往歴を一通り入力し終わったら、操作メニューから「登録」を実行します。



(5)カルテ既往歴画面に戻ると登録した既往歴が表示されます。

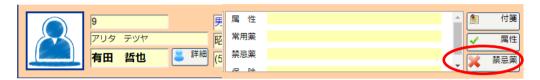


常用薬と禁忌薬を登録する

ここでは常用薬および禁忌薬の登録方法について説明します。

常用薬と禁忌薬の登録方法は基本的にほとんど同じ操作になりますので、ここでは禁忌薬の登録方法を例にして説明します。

(1)カルテ画面の患者情報エリアの操作メニューから[禁忌薬]を実行します。

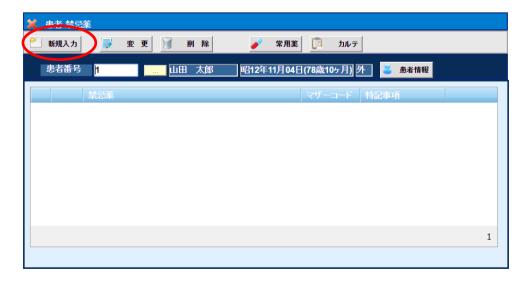


(2)または患者情報画面の操作メニューから[禁忌薬]を実行します。



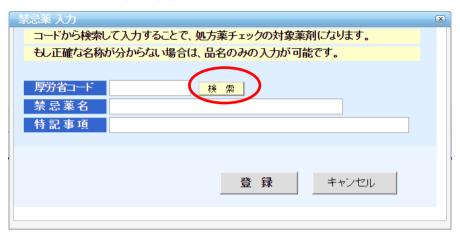
(3)患者禁忌薬画面が表示されます。

操作メニューから[新規入力]を実行します。



(4)禁忌薬入力画面が表示されます。

厚労省コード右横の「検索]を実行します。



☆ 禁忌薬の入力方法には2種類あり、「厚労省マザーから検索して入力する」 方法と、「医薬品名をワープロ入力する」方法があります。

もしも正式名称がはっきり分かっている場合には、できるだけ厚労省 マザーから検索して入力するようにしてください。

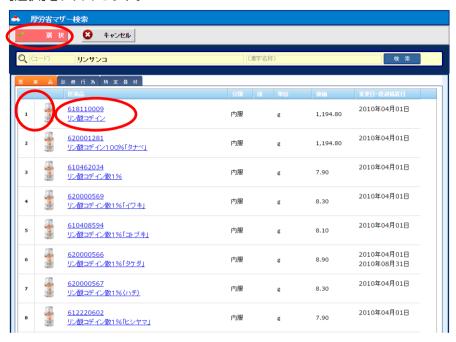
(5)厚労省マザー検索画面が表示されます。

検索条件を入力して[ENTER]キーで確定するかまたは[検索]ボタンを実行します。 カナ名称や漢字名称ではあいまい検索が可能です。

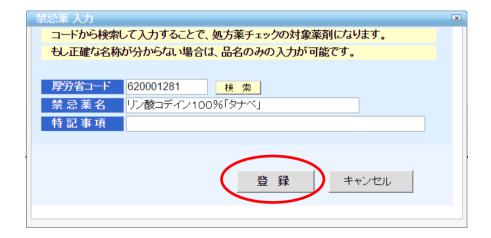


(6)該当する禁忌薬が表示されます。

入力したい医薬品が見つかった場合は 医薬品(行)を選択し、操作メニューの 「選択〕をクリックします。



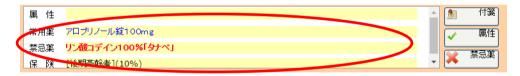
- ※また、選択したい医薬品(行)の医薬品名をクリックすることにより、 ワンタッチで医薬品を選択することもできます。
- (7)医薬品欄に選択された医薬品情報が表示されます。 [登録]を実行します。



(8) 患者禁忌薬画面に戻ると登録した禁忌が表示されます。



(9)登録された禁忌薬と常用薬は下図のようにカルテ上部に表示されます。



新しいカルテを作成する

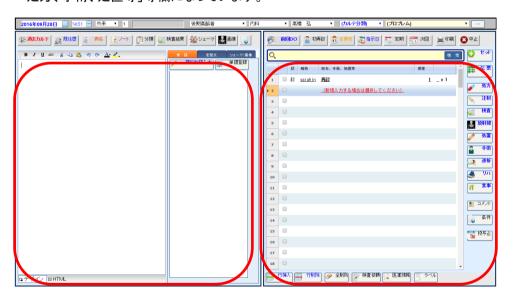
ここでは、新しいカルテの[作成]→[入力]→[保存]という基本的な操作手順について説明 します。

(1)カルテを作成する患者が正しく選択されているか確認できたら、画面右上にある操作メニューから[新規入力]を実行します。

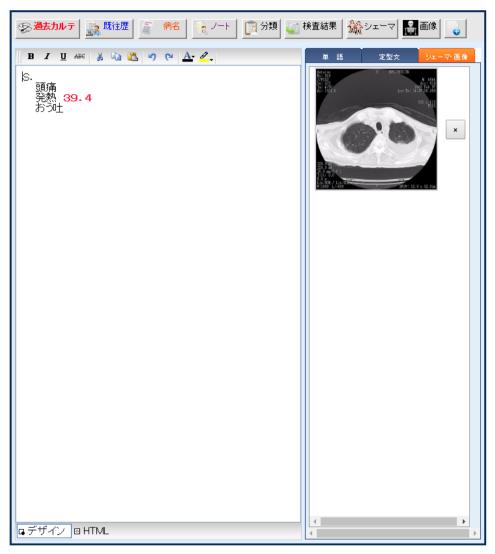


(2)カルテ入力(新規)画面が表示されます。

画面構成はカルテ2号用紙をベースとし、画面左側は「主訴・所見」欄、画面右側は「処方、手術、処置等」等欄になっています。



(3)主訴・所見欄の入力は、自由形式欄となっており、ワープロ入力で入力します。



※主訴・所見欄の詳しい入力方法などは、後のページにて説明します。

(4)処方、手術、処置等欄の入力は、右横の各オーダーボタンから項目を選択することにより行います。



※処方、手術、処置等欄の詳しい入力方法などは、後のページにて説明します。

(5)入力したカルテの内容を保存する場合は[保存]ボタンをクリックします。



(6)外来カルテの保存時には、下図の「診察区分の変更確認」メッセージが表示されます。 これで診察を終える場合にはそのまま[はい]を実行します。



もしこの後、検査や処置等があり、それらの部門で患者の待ち状況を管理 する場合はここで診察区分を[検査]や[処置]等に変更して[はい]を クリックします。

(7)今回のように新規オーダーが入力されている場合、下図の発行オーダー選択画面が表示されますので、発行するオーダーにチェックを入れ、[確定]を実行します。 すると、各依頼票・指示箋等が各部門のプリンタから発行されます。 運用によっては診察室の手元のプリンタから発行させることも可能です。



(8)カルテ画面に戻ると作成したカルテが[過去カルテの表示エリア]に2号用紙のイメージで表示されます。



(9)これで新しいカルテが作成されました。

カルテを削除する(ゴミ箱へ)

ここで説明する方法でカルテを削除すると、見かけ上は「削除カルテ」として画面上では表示されなくなりますが、実際にデータを消去してしまうわけではなく、一度作成されたカルテはデータベースの中に残すような仕組みになっています。

そのため、カルテの3原則である「保存性」は確保されます。

分かりやすい例で例えると、ウィンドウズの標準機能である「ゴミ箱」機能と同じで、ワープロで作成された文書ファイルを削除しても、後で必要になったら「ゴミ箱」からいつでもファイルを復元できるのと同じ機能を再現しています。

(1)カルテ画面のカルテ履歴リストから行選択し、操作メニューの[消去]をクリックします。



(2)下図のような「削除確認」メッセージが表示されますので、削除する場合は「はい〕をクリックします。



(3)これで削除したカルテが履歴リストに表示されなくなります。

削除したカルテを復元する

(1)カルテ画面の操作メニューから[ゴミ箱]アイコンをクリックします。



(2)ゴミ箱画面から復元したいカルテ(行)のチェックボックスをチェックし、操作メニューの[元に戻す]をクリックします。



(3)カルテ画面の履歴リストに、復元したカルテが再び表示されます。

カルテを追記する

一旦作成されたカルテに対して後から内容を訂正したい場合、[追記]モードを利用するとことでカルテの内容を訂正(変更)することができます。

データベースに保存されるカルテの更新情報には、そのカルテが追記されたものかどうかという記録(ログ)は必ず残るようになっています。

(1)カルテ画面の履歴リストから追記したいカルテの[診察日時]を選択します。



(2)カルテ入力(追記)画面が表示されるので、必要な内容を追記し、[保存]を実行します。



(3)カルテ画面に戻ると[過去カルテの表示エリア]に追記分が表示されます。 また[作成履歴エリア]には追記があったことを示す「追」の文字が表示されます。



カルテの日付・時刻を変更する

新しいカルテを作成する場合、通常は作成時点の日時を規定の作成日時として設定します。 外来などの場合は、診察時にカルテを作成されると思いますので、日時を変更する必要は ありませんが、入院などで後から前日分のカルテを作成される場合もあると思います。 そのような場合に、新しいカルテの作成時にカルテの作成日時を変更する方法について 説明します。

※ここで説明する方法で、作成日時は新規入力時もしくは追記時にいつでも変更できますが、 カルテの更新日時(実際にカルテを入力された日時)は、データベースに別に記録されます のでカルテの3原則の中の「真正性」は確保されます。

(1)[カルテ入力]画面の[作成日付]右横にある[カレンダー]ボタンをクリックします。



(2)カレンダーから、変更先の日付を選択します。

月を切り替える場合は前月次月ボタンをクリックします。



(3)選択された日付が表示されます。

[カルテ入力]画面の[作成時間]の右横にある変更ボタンをクリックして時刻を調整します。 また、時刻を直接クリックすることによってキーボードで時刻を入力することもできます。



(4) 通常のカルテ入力と同様に[保存] ボタンをクリックすることにより保存されます。

入力中のカルテを一旦保留にする

新しいカルテまたは追記カルテの入力中に、[保存]せずに[保留]にすることで、入力途中のカルテ内容を仮登録しておき、後からまた追記入力して[保存]を確定することができます。

(主な用途)

- [1]外来の診察の中で検査オーダーし、一旦入力中のカルテを保留にしておいて、検査が 終わりその内容を見て再度診察で、保留中のカルテに追記して保存するという場合
- [2]カルテの作成中に別の患者のカルテを開きたい場合、現在入力中のカルテを一旦保留 しておき、その後続きから入力するという場合等を想定しています。

[保留]と[保存]の違いは、システムの内部でカルテの保存状態が区別されるだけで、カルテの内容はすべて同じようにデータベースに登録されます。

また、[保留]と[保存]を使い分けることで患者の診察状況を明確にすることができます。

(1)カルテの入力を終える時に、「保存」ではなく保留を実行します。



(2)通常の[保存]ボタンをクリックしたときと同様に「診察区分の変更確認」メッセージが表示されます。

例えば、患者が検査中のためカルテを保留にする場合は、ここで診察区分を[診察済]ではなく [検査]に変更し[はい]を実行します。



(3)通常の[保存]ボタンをクリックしたときと同様に発行オーダー選択画面が表示されますので、発行するオーダーにチェックを入れ、[確定]を実行します。



(4)保留カルテは[作成履歴エリア]には保留があったことを示す「留」の文字が表示されます。



※一旦保留されたカルテは、[追記]して[保存]すれば通常のカルテとして再更新されます。

(5)また、保留した先ほどの診察区分の変更時に[検査]に変更した患者を確認するには ステータスモニタの絞り込み条件で「検査]のみにチェックを入れます。



診察区分が[検査]以外([処置]、[注射]等)の場合でも同様の操作で患者を確認することがかできます。

(6)現在カルテが保留されている患者を確認するにはステータスモニタで[保留カルテ]タブをクリックします。

医師で絞り込み検索が可能です。

患者アイコンまたは患者名をクリックすることにより当該カルテを開くことができます。



5 - 主訴・所見の入力

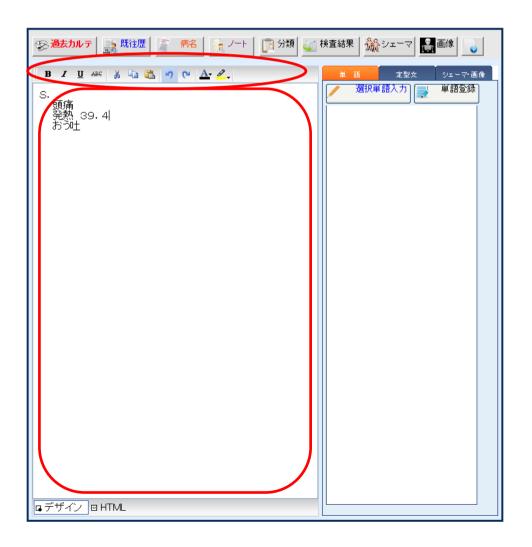
カルテの[主訴・所見]欄の基本的な入力操作に関して説明します。

主訴・所見欄の入力は、自由形式欄となっており、ワープロ入力で入力するようになります。 すべての内容をワープロ入力することもできますが、よく使う単語や定型文をマスタに登録 すると、マウスで選択するだけで簡単に単語や定型文が入力できます。

直接入力する

(1)カルテ入力欄にキーボードを使用して直接入力します。

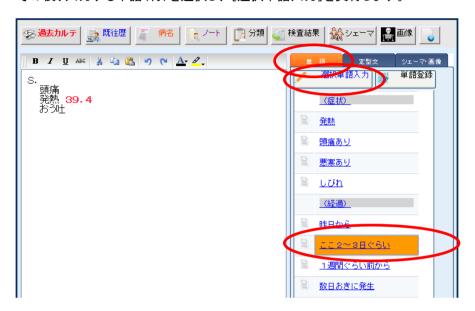
入力した文字を装飾(色変更、太字等)したい場合は、下図のように対象の文字を 選択後、装飾用のアイコンをクリックし、文字を装飾します。



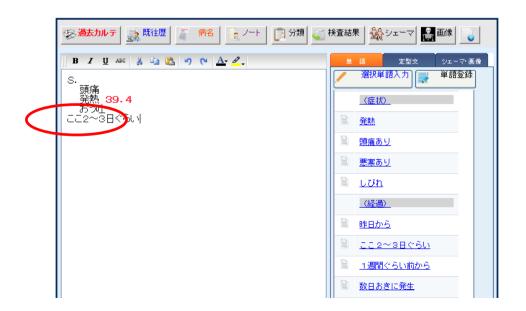
登録単語から選択入力する

(1)「主訴・所見」欄の[単語]タブをクリックします。

その後、入力する単語(行)を選択し、[選択単語入力]を実行します。



(2)選択した単語が「主訴・所見」欄に反映されます。

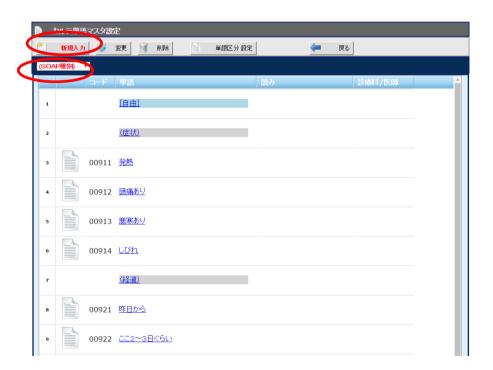


新しい単語を登録する

(1)「主訴・所見」欄の[単語]タブにある[単語登録]ボタンを実行します。

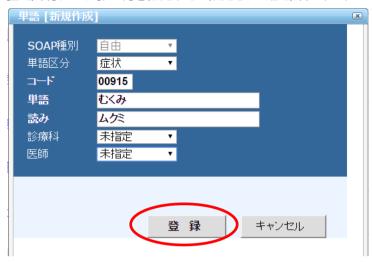


(2)カルテ単語マスタ設定画面が表示されるので、SOAP種別を選択し、 操作メニューの[新規入力]を実行します。



(3)単語(新規作成)画面が表示されるので、各項目を入力し[登録]を実行します。

[診療科]および[医師]を指定すると指定された診療科や医師だけで選択可能になります。



(4)カルテ単語マスタ設定画面に戻ると登録した単語がリストに表示されます。



5 - 主訴・所見の入力

(5)カルテ入力画面に戻ると登録した単語がリストに表示されます。



定型文から選択入力する

「主訴・所見」欄に表示される[定型文]タブから、マウスやペン操作だけで素早く簡単に入力することができます。

(1)「主訴・所見」欄の[定型文]タブをクリックします。

その後、入力する定型文(行)をクリックし、[選択定型文入力]ボタンをクリックします。



(2)選択された定型文が選択形式であれば、下図のように[定型文入力]画面が表示されますので選択項目をマウス(ペン)でチェックします。

複数選択の項目が存在する場合は、[…]ボタンが緑色で表示されていますので、 クリックして入力してください。



5 - 主訴・所見の入力

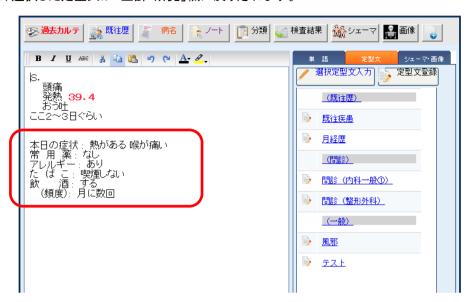
(3)該当する選択項目をマウス(ペン)でチェックし、[入力]ボタンをクリックします。



(4)選択項目の入力が終了すれば[入力]ボタンをクリックします。



(5)選択した定型文が「主訴・所見」欄に反映されます。



検査結果データを転記する

(1)「主訴・所見」欄の操作メニューから[検査結果]ボタンをクリックします。



(2)カルテ入力(検査結果の転記)画面が表示されます。

転記する検査結果(行)を選択し、操作メニューの[選択]を実行します。 または転記する行の日付をクリックします。



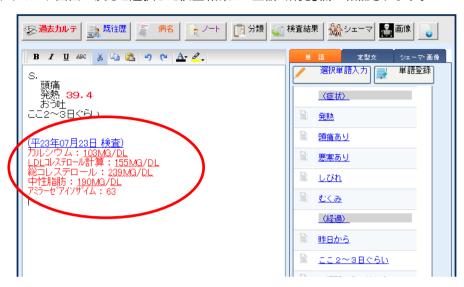
※下図のように、転記する検査結果(行)の検査日をクリックすることにより、 ワンタッチで転記する検査結果を選択することもできます。



(3)検査結果(転記データの個別選択)画面が表示されます。 転記する検査項目にチェックを入れ、[転記]を実行します。



(4)カルテ画面に戻ると選択した検査結果が「主訴・所見」欄に転記されます。



シェーマを入力する

「主訴・所見」欄にシェーマを入力する方法について説明します。

(1)「主訴・所見」欄の操作メニューから[シェーマ]を実行します。



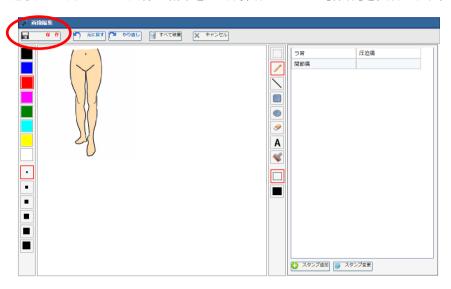
(2)カルテ入力(シェーマ選択)画面が表示されます。

入力したいシェーマを選択します。



(3)画像編集画面が表示されます。

必要により、シェーマ画像に編集を加え、操作メニューの[保存]を実行します。



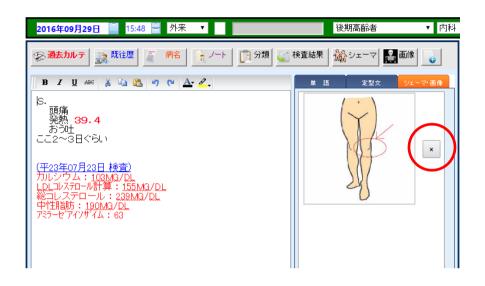
※画像編集画面の詳しい入力方法などは、後のページにて説明します。

(4)入力したシェーマが「主訴・所見」欄の[シェーマ・画像]タブに反映されます。

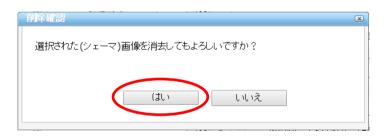
一旦保存されたシェーマを後から訂正したい場合は、[シェーマ・画像]タブに表示されたシェーマ画像を選択すると、編集画面が表示されます。



(5) 一旦保存されたシェーマを削除するには、「主訴・所見」欄の[シェーマ・画像]タブに表示されたシェーマ画像の右横の[×]を実行してください。



(6)下図のような「削除確認」メッセージが表示されますので、削除してもいい場合は[はい]を実行します。



(7)カルテ画面から登録されたシェーマの画像が削除されます。

画像を入力する

(1)「主訴・所見」欄の操作メニューから「画像」を実行します。

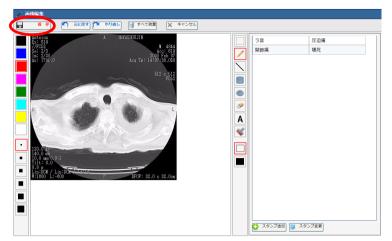


(2)カルテ入力(画像選択)画面が表示されますので、撮影日と分類を設定してから画像を選択します。



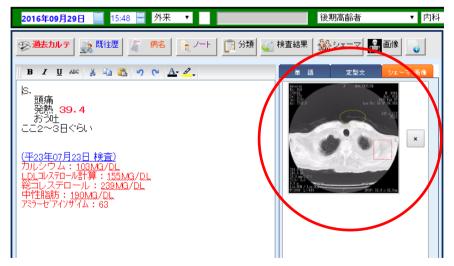
(3)画像編集画面が表示されます。

必要により、画像に編集を加え、操作メニューの[保存]を実行します。

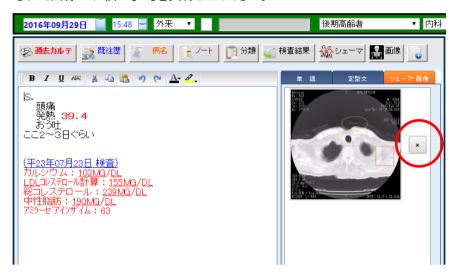


※画像編集画面の詳しい入力方法などは、後のページにて説明します。

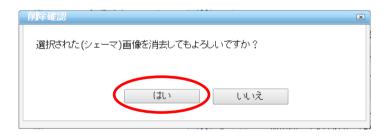
- (4)入力した画像が「主訴・所見」欄の[シェーマ・画像]タブに反映されます。
 - 一旦保存された画像を後から訂正したい場合は、[シェーマ・画像]タブに表示された 画像をクリックすると、編集画面が表示されます。



(5) 一旦保存された画像を削除するには、「主訴・所見」欄の[シェーマ・画像]タブに表示された画像の右横の[×]を実行してください。



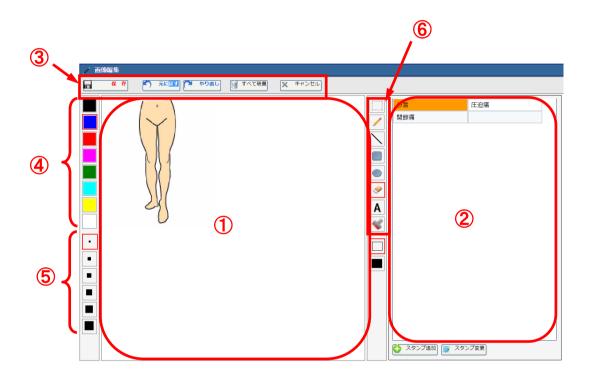
(6)下図のような「削除確認」メッセージが表示されますので、削除してもいい場合は [はい]を実行します。



(7) 先ほど保存した画像が消去されます。

画像を編集する

シェーマや画像の入力時に使用する画像編集の操作方法について説明します。 シェーマの場合も画像の場合も操作方法は同一ですのでここではシェーマを例にして ご説明します。



(1)「キャンバス」 … 画像を直接編集する部分です。

②[スタンプー覧] … スタンプの一覧を表示する部分です

③「操作メニュー」 ・・・・ 画像編集画面全体の操作にかかわるボタンです。

④[カラーボックス] … ペンの色を変更します。

⑤[サイズボックス] … ペンの太さを変更します。

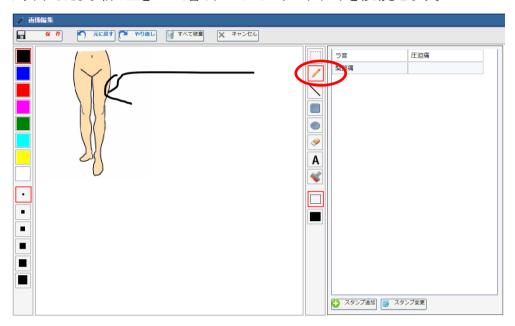
⑥[ペンメニュー] ・・・・ 文字や直線、曲線などペンの描き方を選択できます。

(7)[パターンボックス] … 丸や四角で囲むときの塗りつぶしを選択できます。

(1)ペンメニューから[ペン]を選択します。

キャンバス上で書き始める位置でマウスをドラッグします。

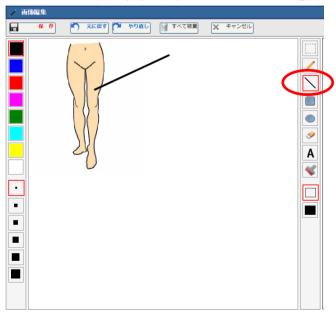
ドラッグしたまま紙の上をペンで書くイメージでマウスポインタを移動させます。



(2)ペンメニューから[直線]を選択します。

キャンバス上で書き始める位置でマウスをドラッグします。

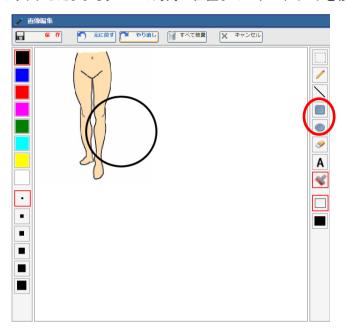
ドラッグしたまま書き終わる位置までマウスポインタを移動させ、ドラッグをやめます。



(3)ペンメニューから[四角]または[楕円]を選択します。

キャンバス上で一つの対角の位置でマウスをドラッグします。

ドラッグしたままもう一つの対角の位置までマウスポインタを移動させ、ドラッグをやめます。

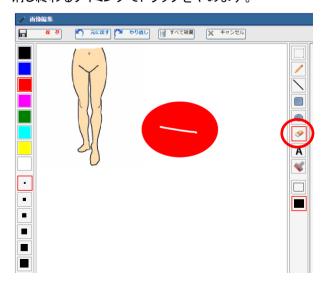


(4)ペンメニューから[消しゴム]を選択します。

キャンバス上で消し始める位置でマウスをドラッグします。

ドラッグしたまま消しゴムで消すイメージでマウスポインタを移動させます。

消し終わるタイミングでドラッグをやめます。

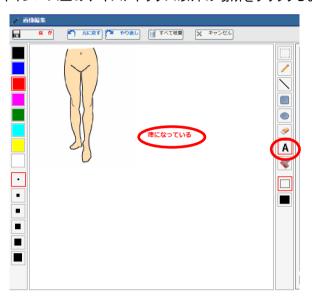


(5)ペンメニューから[文字]を選択します。

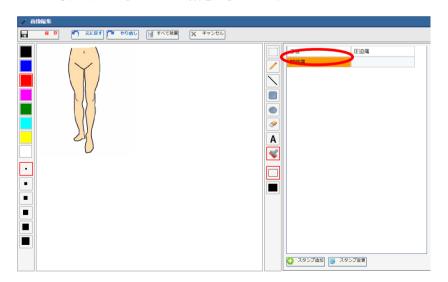
キャンバス上で文字を入力する位置をクリックします。

テキストボックスが表示されますので文字を入力します。

キャンバス上のテキストボックス以外の場所をクリックします。

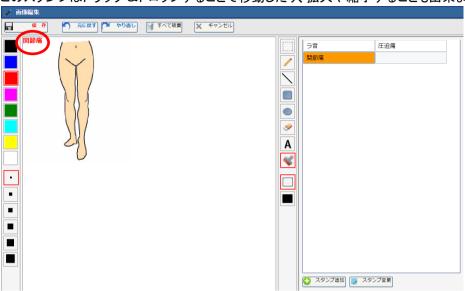


(6)スタンプ一覧の中から用語を使用したい場合は スタンプ一覧の中から使いたい用語を選択します。

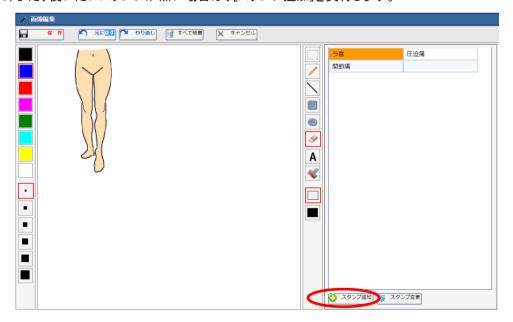


(7)すると選択した用語がスタンプとしてキャンパスの左上に表示されます。

このスタンプはドラッグ&ドロップすることで移動したり、拡大や縮小することも出来ます。



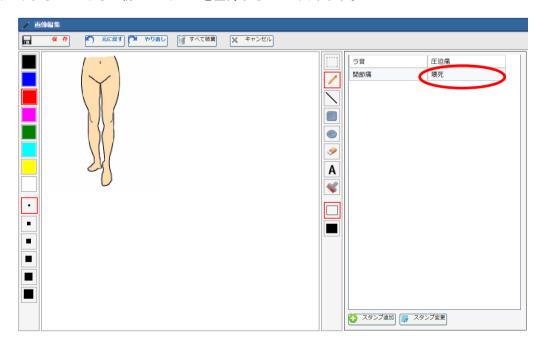
(8)また、使いたいスタンプが無い場合は、[スタンプ追加]を実行します。



(9)新規のスタンプ設定が表示されるので、設定コードにスタンプに使っていない数値 を割り当てて、スタンプ内容には入力したい内容を記入します。

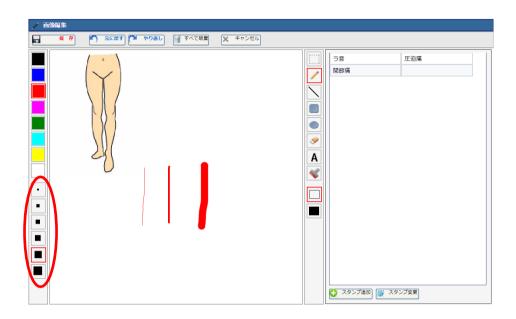


(10) するとこのように新しいスタンプを登録することが出来ます。



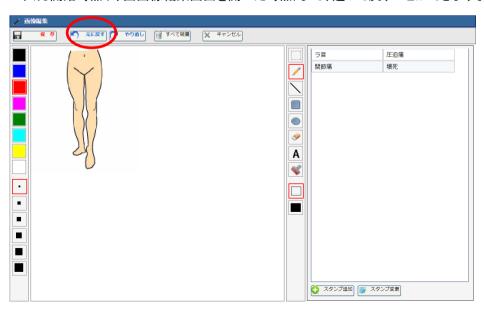
(11)描画操作をする前にサイズボックスから使用したい太さをクリックするとその太さで 描画することができます。

自由曲線(ペン)、または直線の入力時にこの操作を行うことができます。

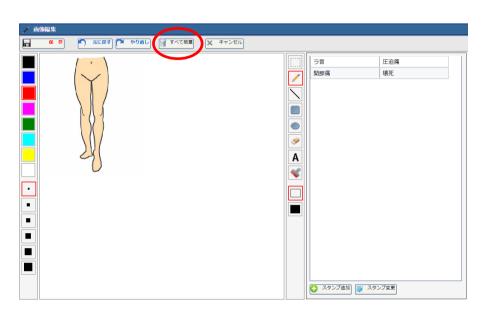


(12)直線の入力や楕円の入力など、描画操作を行った後で[元に戻す]を実行することにより直前の状態に戻すことができます。

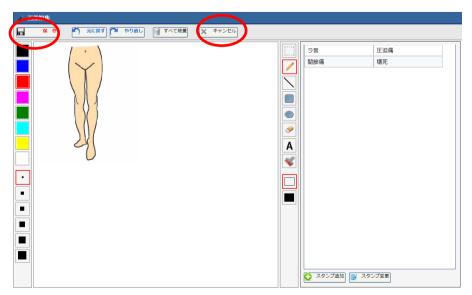
入力開始時点(今回画像編集画面を開いた時点)まで、遡って戻すことができます。



(13)すべての描画操作を取り消したい場合、[すべて破棄]ボタンを実行することにより、それまでの入力をすべて破棄し、入力開始時点(今回画像編集画面を開いた時点)まで、一気に戻すことができます。

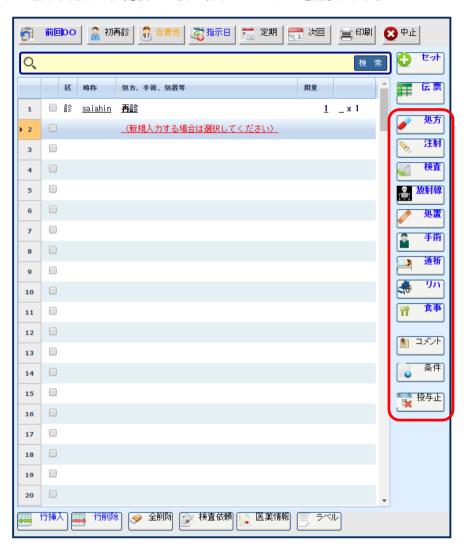


(14) [保存]ボタンを実行することにより、現在の画像の内容がカルテ入力画面に反映され、また[キャンセル]ボタンを実行することにより、現在の入力内容をすべて破棄し、カルテ入力画面に戻ります。

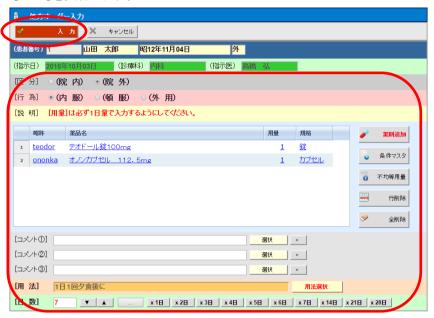


オーダーを新規に入力する

(1)「処置、手術、処方等」欄の右横の各オーダーボタンを選択します。



(2)オーダーの入力画面が表示されますので、必要な内容を入力し、操作メニューの [入力]を実行します。



(3)カルテ入力画面に戻るとオーダーが「処方、手術、処置等」等欄に反映されます。



6 - 処置・処方の入力(共通)

セットからオーダーを新規に入力する

あらかじめ決まった内容の定型的な処置・処方を「セット」としてマスタに登録しておくことで、セットパネルからセット名を選択するだけで、簡単に処方内容を入力することができます。 例えば(内服)であれば、「風邪」や「咳」などといった一般的な名称でセットを登録しておけば、セット画面から簡単にオーダーすることができますので非常に便利です。

(1)「処置、手術、処方等」欄の右横の[セット]を選択します。



(2)(オーダー)セット選択パネル画面が表示されますので、必要により上部の検索条件 やタブを使用して選択するセットを表示させます。



(3)1つのセットのみをオーダーする場合はセット名をクリックします。 複数のセットを一度にオーダーしたい場合は対象セットのチェックボックスをチェックして 操作メニューの[入力]を実行します。



(4)カルテ入力画面に戻るとオーダーが「処方、手術、処置等」等欄に反映されます。



6 - 処置・処方の入力(共通)

指示伝票からオーダーを新規に入力する

あらかじめ登録された[セット]と[明細項目]を用途ごとにまとめて「指示伝票」としてマスタに登録しておくことで、指示伝票パネルから伝票名を選択するだけで、簡単に処方・処置等の内容を一度に入力することができます。

(1)「処置、手術、処方等」欄の右横の「伝票」を選択します。



(2)オーダー伝票入力画面が表示されますので、必要により左部の指示伝票一覧や上部の検索条件を使用して選択するセットを表示させます。



(3)オーダーするセットまたは明細のチェックボックスをチェックした後、操作メニューの[入力]

を実行しま | す。



(4)カルテ入力画面に戻るとオーダーが「処方、手術、処置等」等欄に反映されます。



前回DOによりオーダーを新規に入力する

ここで説明する「前回DO」機能を利用すれば、前回と同じオーダー内容をマウスやペンで 選択するだけで簡単に入力することができます。

(1)「処置、手術、処方等」欄の操作メニューの[前回DO]ボタンをクリックします。



(2) [処置処方DO] 画面が表示されます。過去の処方処置が時系列に表示されますので 入力したい日付を選択することで該当の処方処置が表示されます。



(3)表示中の全オーダーをDOしたい場合は、[全入力]ボタンを選択します。 選択して処方のみ入力する場合は、該当の処方のみチェックしてから[個別入力] ボタンを選択します。



(4)[カルテ入力]画面に戻ると選択された処方処置が入力されます。



オーダー行を挿入する

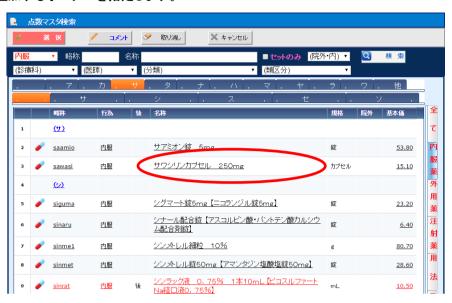
(1) 挿入する行のチェックボックスをチェックした後、下部の[行挿入]ボタンを選択します。



(2)挿入位置に赤文字で「(新規挿入する場合は選択してください)」の文字が表示されますのでリンクを選択します。



(3)追加するオーダーを指定します。



(4)カルテ入力画面に戻ると指定された位置にオーダーが反映されます。



オーダーを1明細だけ削除する

(1)削除する行のチェックボックスをチェックした後、下部の[行削除]ボタンを選択します。



(2)指定された位置のオーダーが1明細だけ削除されます。



オーダーを区分ごと削除する

(1)削除する区分行のチェックボックスをチェックした後、下部の[行削除]を選択します。



(2) 指定された位置のオーダーが区分ごと削除されます。



オーダーをすべて削除する

(1)現在入力されているオーダー(処方・処置等すべて)を削除する場合は、下部の 「全削除]を選択します。



(2)下図のような「削除確認」メッセージが表示されますので、削除してもいい場合は [はい]を実行します。



(3)すべてのオーダーが削除されます。



7 - 診察料の入力

ここでは、カルテの[処置、手術、処方等]欄のうち、診察料(初診・再診)の入力に関して 説明します。

診察料(初診・再診)を入力する

通常の運用の場合、「診察料」は医事会計と連動して入力されますので、窓口で患者の受付登録を実行した時点で、その日の初・再診が自動入力されます。

ただ、診察時に窓口で自動登録された初再診を訂正するような場合、ここで説明する方法でカルテの「処方・処置〕入力画面から簡単に初再診を入力(変更)することができます。

(1)「処方、手術、処置等」等欄の操作メニューの[初再診]を実行します。



(2) するとこのように初診料を入力することが出来ます。

そしてもう1回[初再診]を入力します。



(3) するとこのように再診料を入力することも出来ます。



8 - 処方をオーダーする

処方を新規に入力する

(1)「処置、手術、処方等」欄の右横の[処方]を実行します。

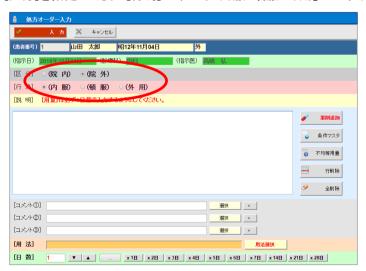


(2)処方オーダー入力画面が表示されます。

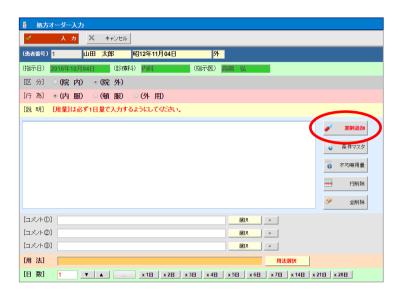
[区分]では[院内・院外]のいずれかが初期設定されます。

外来においては規定の区分と違う処方を入力する場合のみ切り替えします。

[区分]を指定した後に[行為]の中から「内服・頓服・外用」のいずれかを選択します。

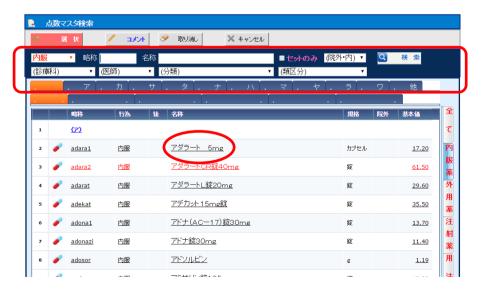


(3) [薬剤追加]ボタンをクリックします。

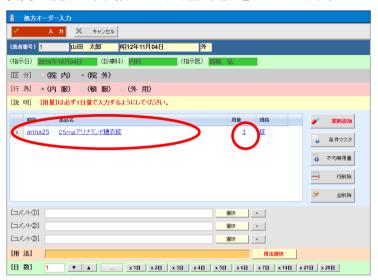


(4)点数マスタ検索画面が表示されます。

必要に応じて上部の検索条件やタブを使用して処方する薬剤を検索します。 その後にオーダーする薬剤名を選択します。



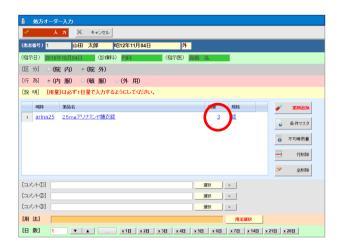
(5) 処方オーダー入力画面に戻ると選択された薬剤が表示されます。 薬剤が選択されると用量に規定値(最小値)が自動入力されます。 変更の必要がある場合のみ、用量(数値)をクリックします。



(6)テンキー(数字キー)が表示されるので変更したい用量をテンキー画面から入力します。

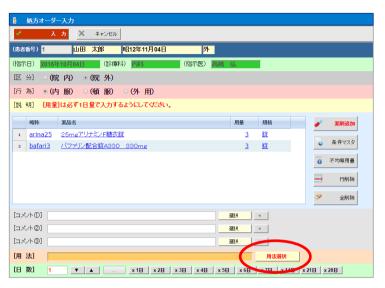


(7)テンキー(数字キー)で入力された数字が表示されます。



(8)同じ用法で2つ以上の薬剤を入力する場合は、⑤~⑨を繰り返します。 薬剤の入力がすべて終了すれば次へ進みます。

(9)[用法選択]ボタンをクリックします。



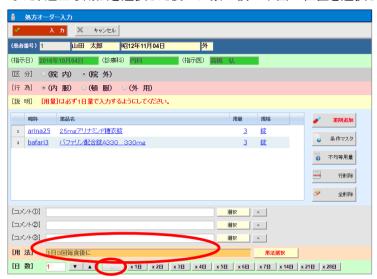
(10)点数マスタ検索画面が表示されます。

必要により上部の検索条件やタブを使用して入力する用法を検索し、

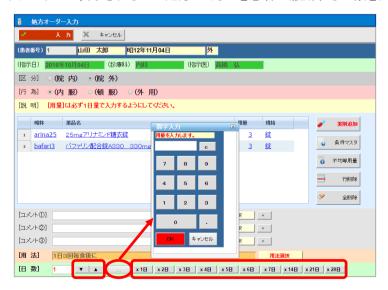


(11)処方オーダー入力画面に戻ると選択された用法が表示されます。

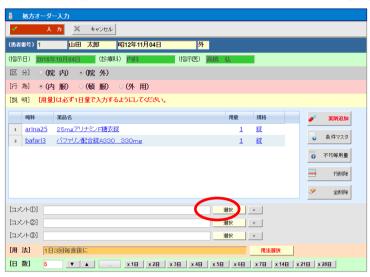
また、適正な用法を選択した後に日数の横の下図の位置を選択します。



(12)テンキーが表示されるので処方したものを患者が服用する日数を入力します。



(13)また、コメントを入力する必要がある場合はコメントの横にある[選択]を実行します。

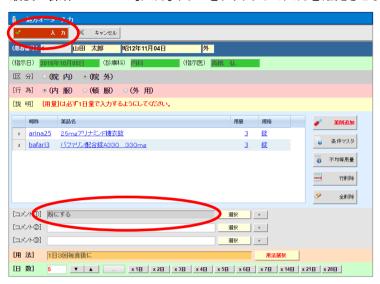


(14)オーダーコメント入力画面が表示されます。

必要により上部の検索条件やタブを使用して入力するコメントを検索します。 入力するコメントをクリックします。



(15)処方オーダー入力画面に戻ると選択されたコメントが表示されます。 最後に操作メニューの[入力]ボタンをクリックして入力を確定させます。



(16)カルテ入力画面に戻るとオーダーが反映されます。



(処方の入力後に)用量を修正する

(1)カルテ入力画面で修正したい用量の個所をクリックします。



(2)変更したい用量をテンキー画面から入力します。



(3)変更した用量が反映されます。



(処方の入力後に)日数を修正する

(1)カルテ入力画面で修正したい日数の個所をクリックします。



(2)変更したい日数をテンキー画面から入力します。



(3)変更した日数が反映されます。



(処方の入力後に)薬剤を修正する

(1)カルテ入力画面で修正したい薬剤の個所をクリックします。



(2)点数マスタ検索画面が表示されます。

必要により上部の検索条件やタブを使用して処方する薬剤を検索します。 その後、オーダーする薬剤をクリックします。



(3)カルテ入力画面に戻ると選択された薬剤に置き換わります。

(処方の入力後に)用法を修正する

(1)カルテ入力画面で修正したい用法の個所をクリックします。



(2)点数マスタ検索画面が表示されます。

必要により上部の検索条件やタブを使用して入力する用法を検索します。



(3)カルテ入力画面に戻ると選択された用法に置き換わります。

(処方の入力後に)コメントを修正する

(1)カルテ入力画面で修正したいコメントの個所をクリックします。



(2)点数マスタ検索画面が表示されます。

必要により上部の検索条件やタブを使用して入力するコメントを検索した後に、 入力するコメントを選択します。



(3)カルテ入力画面に戻ると選択されたコメントに修正されます。

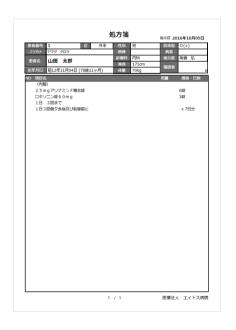
処方箋を発行する

カルテを保存するとオーダーの発行指示へと遷移し、その後処方箋が発行されます。

- ※[カルテ]画面のオプション設定で、保存時の動作を定義することが出来ます。
- ※(ツール)[プリンタ設定]で、出力先のプリンタを設定することで手元のプリンタに印刷することができます。
- (1)カルテの保存後に表示される「オーダー選択」画面で、処方にチェックしてから 「確定」を実行します。



(2)院外処方箋は手元のプリンタへ、院内処方箋は薬局のプリンタに印刷されます。





院内処方箋

院外処方箋

※院外処方箋はここで説明しているようにカルテから発行もできますが、
医事会計と連動している場合、医事会計システムから発行させることも可能です。

処方の訂正オーダーを入力する

ここでは、すでに入力された処方オーダーに対して追加または訂正して、訂正オーダーを 再発行する場合の操作手順について説明します。

(2)訂正の例として、すでにオーダー済みの処方の日数を訂正します。 日数変更の操作方法は本章の[(処方の入力後に)日数を修正する]を参照してください。



(3)新規処方を追加オーダーします。

追加の操作方法は本章の[処方を新規に入力する]を参照してください。



(4)カルテの保存時に処方オーダーを発行します。



(5)院内処方の場合、訂正後の処方箋が薬局のプリンタに印刷されます。



処方の中止オーダーを入力する

ここではすでに発行済みの処方オーダーを中止したい場合の操作手順について説明します。 中止オーダーを実行すると、薬局に(中止)と記載された「処方箋」が発行されます。

(1)処方の中止は行為ごととなっています。

中止する処方の先頭行(行為行)のチェックボックスをチェックし、[中止]ボタンをクリックします。



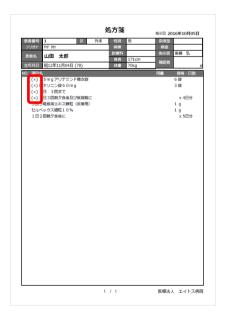
(2)選択された処方行に取り消し線が入り、中止オーダーとして設定されます。 中止オーダーの選択がすべて終了すればカルテを保存します。



(3)カルテの保存時に処方オーダーを発行します。



(4)薬局のプリンタから処方箋(中止)が発行されます。 中止されたオーダーには左に「(×)」が印字されます。

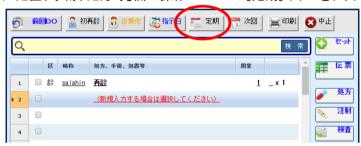


定期処方から新規に入力する

処方DOとは別に、定期的な処方を「定期処方」としてあらかじめ登録しておき、ボタン1つで毎回同じ処方を簡単に入力することができます。

また、入院患者に対する「定期処方の一括オーダー」は、ここで登録された処方を元にして 行われます。

(1)「処置、手術、処方等」欄の操作メニューの[定期]ボタンをクリックします。



(2)表示中の全オーダーを入力したい場合は操作メニューの[全入力]ボタンをクリックします。 一部のみを入力したい場合は入力するオーダーのチェックボックスをチェックした後、 操作メニューの[個別入力]を実行します。



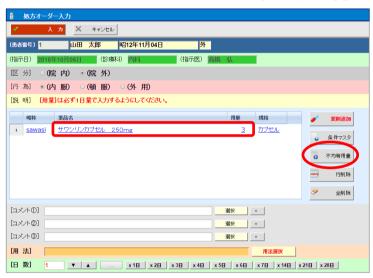
(3)カルテ入力画面に戻るとオーダーが「処方、手術、処置等」等欄に反映されます。



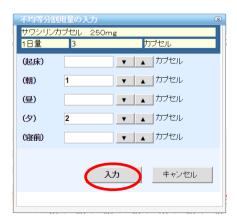
処方の不均等用量を入力する

処方の新規入力時に、「朝(1錠)」・「夕(2錠)」など不均等用量の処方を入力する場合の操作方法について説明します。

(1)処方薬剤と用量(1日量)が入力された状態で[不均等用量]を実行します。



(2)不均等分割用量の入力画面が表示されますので、分割用量の合計が1日量と同数になるように入力し、「入力」を実行します。



(3)処方オーダー入力画面に戻ると不均等用量が反映されます。



9 - 注射をオーダーする

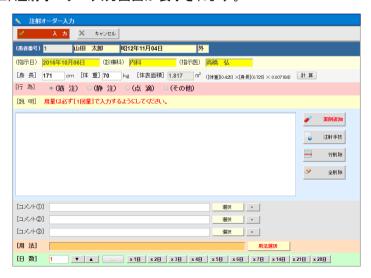
ここでは、カルテの[処置、手術、処方等]欄のうち、注射の入力に関して説明します。 基本的な操作方法は「処方」の入力画面と同じため、ここで説明していない基本操作に関しては「8-処方をオーダーする」を参照してください。

注射を新規に入力する

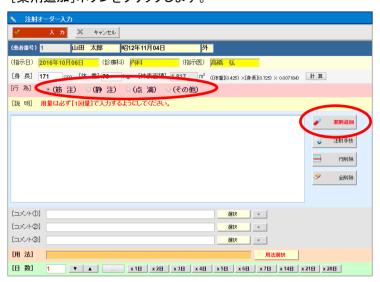
(1)「処置、手術、処方等」欄の右横の[注射]ボタンをクリックします。



(2)注射オーダー入力画面が表示されます。



※基本的な入力方法は注射も処方とほとんど同じですが、注射の場合は必ず[1回量] での入力が基本となります。 (3)「筋注」・「静注」・「点滴」・「その他」のいずれかを選択します。 「薬剤追加]ボタンをクリックします。



(4)点数マスタ検索画面が表示されます。

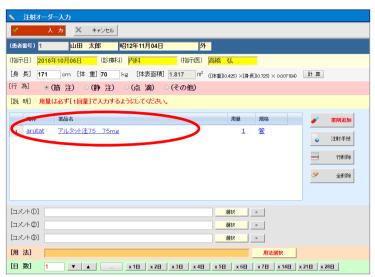
必要により上部の検索条件やタブを使用して処方する薬剤を検索します。

オーダーする薬剤をクリックします。

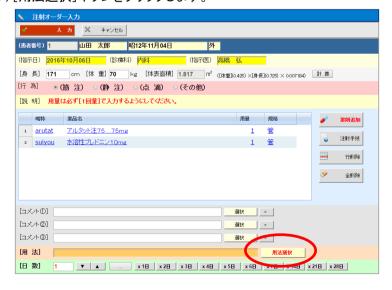


9 - 注射をオーダーする

(5)注射オーダー入力画面に戻ると選択された薬剤が表示されます。



- (6)同じ注射で2つ以上の薬剤を入力する場合は、④~⑦を繰り返します。 薬剤の入力がすべて終了すれば次へ進みます。
- (7)[用法選択]ボタンをクリックします。



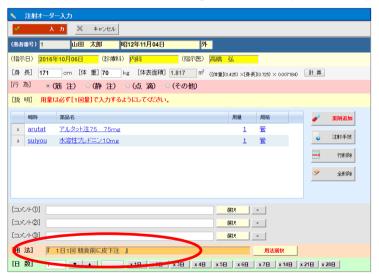
(8) 点数マスタ検索画面が表示されます。

必要により上部の検索条件やタブを使用して入力する用法を検索します。

その後入力したい用法を選択します。

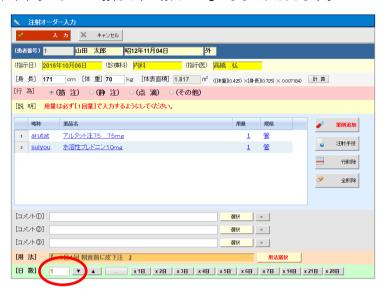


(9)注射オーダー入力画面に戻ると選択された用法が表示されます。

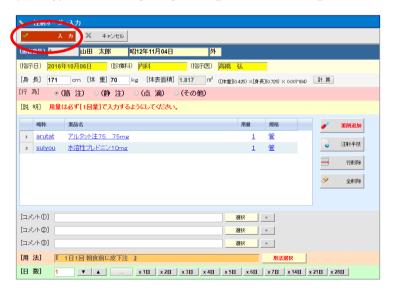


9 - 注射をオーダーする

(10)外来オーダーの場合は、日数は「x1」のままで入力します。



(11)最後に操作メニューの[入力]ボタンをクリックして入力を確定させます。



(12)カルテ入力画面に戻るとオーダーが反映されます。



(13)続けて別の注射を入力する場合は①から繰り返します。

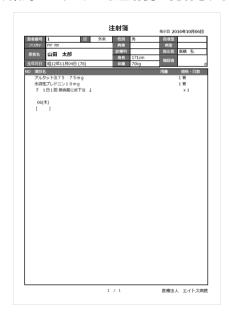
9 - 注射をオーダーする

注射箋を発行する

(1)カルテの保存後に、下図の「オーダー選択」画面で注射オーダーの発行を選択します。 [注射]を選択して、[確定]を実行します。



(2)薬局のプリンタから注射箋が発行されます。





入力画面と同様に、注射箋も[1回量]で記載されますので注意してください。

注射の訂正オーダーを入力する

例として、下図のようにすでにオーダー済みの注射があるカルテに「注射内容の訂正」と 「新規注射の追加」を行います。

(1) 訂正の例として、すでにオーダー済みの注射薬剤を訂正します。

薬剤変更の操作方法は[8-処方をオーダーする]-[(処方の入力後に)薬剤を修正する] を参照してください。



(2) 新規注射を追加オーダーします。

追加の操作方法は本章の[注射を新規に入力する]を参照してください。

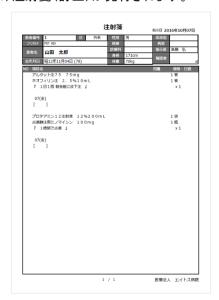


9 - 注射をオーダーする

(3)カルテの保存時に注射オーダーを発行します。



(4)注射箋(訂正)が発行されます。



注射の中止オーダーを入力する

ここではすでに発行済みの注射オーダーを中止したい場合の操作手順について説明します。 中止オーダーを実行すると、薬局へ「×印(中止)」が記載された「注射箋」が発行されます。

(1)注射の中止は行為ごととなっています。

中止する注射の先頭行(行為行)のチェックボックスをチェックし、「中止]ボタンを実行します。

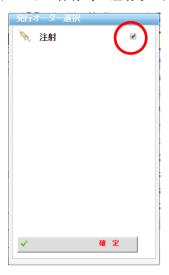


(2)選択された注射行に取り消し線が入り、中止オーダーとして設定されます。 中止オーダーの選択がすべて終了すればカルテを保存します。



9 - 注射をオーダーする

(3)カルテの保存時に注射オーダーを発行します。



(4)(中止)注射箋が発行されます。

中止されたオーダーには左に「(×)」が印字されます。



その他注射を入力する(注射手技を入力する)

「関節腔内注射」などの「その他注射」を入力する場合の操作方法について説明します。 基本的な流れは通常の注射の入力と同様ですが、その他注射の手技を入力する操作が 加わるのがポイントです。

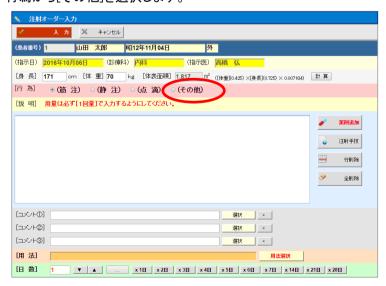
また、よく利用する「その他注射」の場合はセット登録しておくことをお勧めします。

(1)「処置、手術、処方等」欄の右横の[注射]ボタンを実行します。



(2)注射オーダー入力画面が表示されます。

行為から[その他]を選択します。



9 - 注射をオーダーする

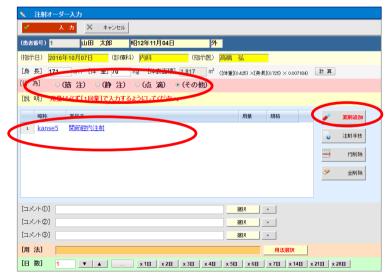
(3)点数マスタ検索画面が表示されます。

オーダーするその他注射手技をクリックします。



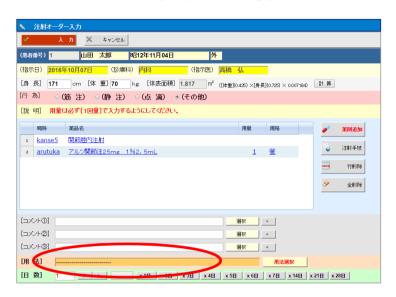
(4)注射オーダー入力画面に戻ると選択された注射手技が表示されます。 その後、薬剤を入力します。

入力方法は本章の「注射を新規に入力する」を参照してください。

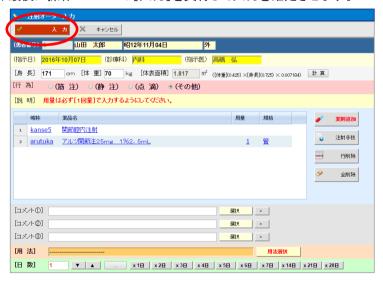


(5)薬剤と注射手技を入力した後に用法を入力します。

入力方法は本章の「注射を新規に入力する」を参照してください。



(6)最後に操作メニューの[入力]を実行して入力を確定させます。



曜日や日付を指定したオーダーを入力する

入院患者の「注射(点滴)」をオーダーする場合、通常7日や14日単位のオーダーが基本になると思います。

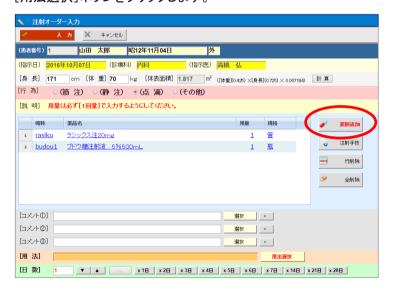
「注射(点滴)」の場合、毎日実施するようなオーダーであれば単純に実施する日数(7日とか)分のオーダーを入力すればよいのですが、「1日ごと」とか「月曜日と木曜日だけ」、また「何日と何日に」というような変則的なオーダーを入力しなけばいけないよう場合にここで説明する方法で簡単に入力することができます。

ここでは「月・水・金だけの3日分」という点滴を新規に入力する操作を例にして説明します。



ここで説明している(曜日)・(日付)を入力する「用法」は、あらかじめ専用の用法 としてマスタ登録しておかないと利用することはできません。

(1)注射オーダー入力画面で下図のように点滴薬剤まで入力が終了しましたら [用法選択]ボタンをクリックします。



(2)点数マスタ検索画面が表示されます。

行為に「点滴」が選択されていることを確認し、その下の[点滴(曜日)]タブを選択します。

※日付指定の場合はここで[点滴(日付)]タブを選択します。



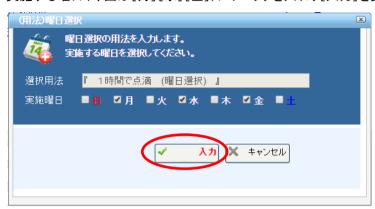
(3)入力する用法を選択します。



9 - 注射をオーダーする

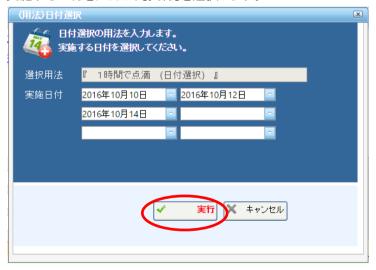
(4)(用法)曜日選択画面が表示されます。

実施する曜日(今回は[月][水][金])にチェックを入れ、[入力]を実行します。



(5)日付指定(用法選択で[点滴(日付)]タブをクリック)の場合は以下のように (用法)日付選択画面が表示されます。

実施する日付を入力し、[実行]を選択します。



(6)注射オーダー入力画面に戻ると選択された用法および曜日選択が表示されます。 また、選択された曜日に応じて日数も自動計算されて表示されます。 最後に操作メニューの[入力]を実行して入力を確定させます。



9 - 注射をオーダーする

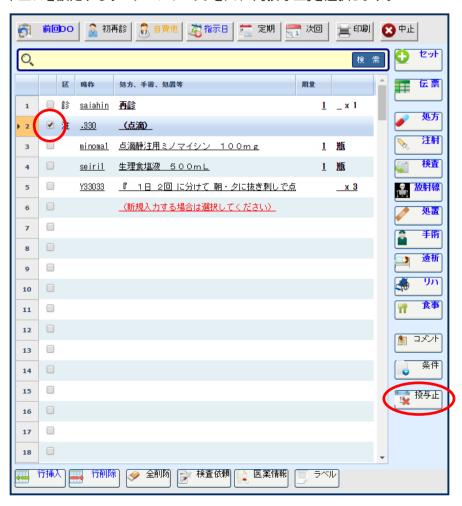
投与中止日を設定する

(入院)注射オーダーにおいて、特定の日付(時間)の注射だけを後から[中止](実施なし)された場合に、投与中止日マスタを設定することで後から簡単に特定の実施分だけを[中止]とする訂正オーダーを入力することができます。

また、新規オーダーの入力時でも、特定の日付(曜日)だけ「休薬日」に設定するような場合にも、ここで説明する方法で中止設定にすることで対応できます。

(1)下図のようにすでにオーダー済みの注射があるカルテを[追記]で開きます。

中止日を設定するオーダーにチェックを入れ、[投与止]を選択します。



(2)投与中止日の入力画面が表示されます。



(3)カルテ入力画面に戻ると投与中止日が「処方、手術、処置等」等欄に反映されます。



ここでは、カルテの[処置、手術、処方等]欄のうち、検査の入力に関して説明します。

基本的な操作方法は「処方」の入力画面と同じため、ここで説明していない基本操作に関しては「8-処方をオーダーする」を参照してください。

検査を新規に入力する

(1)「処置、手術、処方等」欄の右横の[検査]ボタンをクリックします。



(2)検査オーダー入力画面が表示されます。

必要により上部の検索条件やタブを使用してオーダーする検査を検索します。

1つの検査を入力する場合はその検査名をクリックします。

複数の検査を一度に入力する場合は入力したい検査のチェックボックスにチェックを 入れ、操作メニューの「入力]を実行します。





(3)カルテ入力画面に戻ると選択された検査(セット)が反映されます。



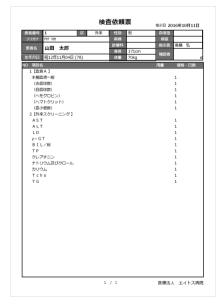
検査依頼票を発行する

カルテを保存するとオーダーの発行指示へと遷移し、その後検査依頼票が発行されます。

(1)カルテの保存時に検査オーダーを発行します。



(2)検査室のプリンタから検査依頼票が発行されます。



検査の訂正オーダーを入力する

ここでは、すでに入力された検査オーダーに対して追加または訂正して、訂正オーダーを 再発行する場合の操作手順について説明します。

(1)すでにオーダー済みの検査セット(この例では「血算A」)を削除します。 削除の操作方法は[6-処置・処方の入力(共通)]-[オーダーを区分ごと削除する] を参照してください。



(2) 新規検査(この例では「血算C」)を追加オーダーします。

追加の操作方法は本章の[検査を新規に入力する]を参照してください。



(3)カルテの保存時に検査オーダーを発行します。



(4)(訂正)検査依頼票が発行されます。



検査の中止オーダーを入力する

ここではすでに発行済みの検査オーダーを中止したい場合の操作手順について説明します。 当システムでは中止オーダーを実行すると、検査室へ×印が記載された「検査依頼票」が発行されます。

(1)検査の中止は行為ごととなっています。

中止する検査の先頭行(行為行)のチェックボックスをチェックし、[中止]を実行します。



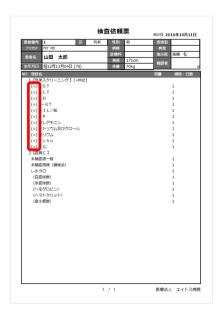
(2)選択された検査行に取り消し線が入り、中止オーダーとして設定されます。 中止オーダーの選択がすべて終了すればカルテを保存します。



(3)カルテの保存時に検査オーダーを発行します。



(4)(中止)検査依頼票が発行されます。 中止されたオーダーには左に「(×)」が印字されます。



至急の検査をオーダーする

至急で検査してほしいオーダーの場合、検査依頼書に「緊急」という文字を出力させることができます。

(1)まず、通常どおりの手順で検査オーダーを新規入力します。

そして、{緊急}に設定したい検査の先頭行(行為行)の略称又は名称のリンクを選択します。



(2)すると下図のように、検査名が赤字に変化し、右横にくく緊急>>という文字 が表示されるようになります。

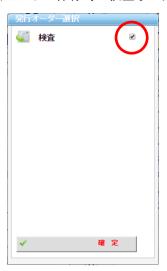
緊急オーダーの指定がすべて終了すればカルテを保存します。



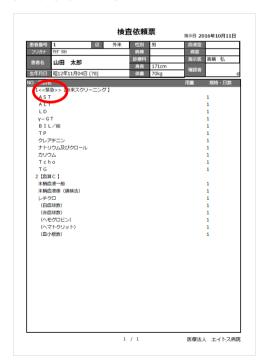
g

緊急指定された検査を元に戻すには再度略称又は名称のリンクをクリックします。

(3)カルテの保存時に検査オーダーを発行します。



(4)検査依頼票には、指定されたオーダーに「<<緊急>>」と印字されます。



外注検査依頼データを入力する

本システムでは「検査結果データ」の管理機能に加えて「外注検査依頼データ」の管理機能も搭載しています。

そのため、検査センター等に検査を外注されている場合、この検査依頼機能を利用すること で検査センター専用の依頼シートに手書きすることなく、検査依頼をすべてデータとして電子 化することができます。

(1)カルテ入力画面の「処方、手術、処置等」等欄に検査オーダーが入力された状態で画面下の「検査依頼]を選択します。



(2)検査依頼の入力(検査オーダー転記)画面が表示されます。

現在カルテに入力されている「検査オーダー」から、外注検査の「依頼データ」へ転記する項目を個別に選択する画面になっており、検査項目マスタが正しく設定されていれば下図のように転記できる項目はあらかじめすべて選択(チェック)されています。ここでは、そのまま[転記]ボタンを実行します。



[(外注)検査項目マスタ]の設定は、[マスタ設定]ー[検査]ー[検査項目]で 登録することができます。

また、上図のように検査オーダーから検査項目へ正しく転記させるためには「検査項目マスタ」と[点数マスタ]の関連づけが正しく設定されている必要があります。

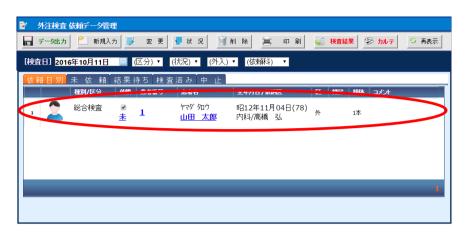
(3)外注検査依頼データ入力画面が表示されます。

さきほどの検査依頼の入力画面で選択された検査項目が(下図のように)あらかじめ 選択された状態で表示されます。

必要であれば[依頼情報]や[検体情報]などを入力して、依頼する検査項目に間違いがなければ[登録]を選択します。



(4)登録が完了すると外注検査依頼データ管理画面に登録された依頼が表示されます。



※外注検査依頼データ管理画面を表示するにはメインメニューから[検査依頼]を 実行します。

11 - X線をオーダーする

ここでは、カルテの「処置、手術、処方等]欄のうち、X線オーダーの入力に関して説明します。

基本的な操作方法は「処方」の入力画面と同じため、ここで説明していない基本操作に関しては「8-処方をオーダーする」を参照してください。

X線を新規に入力する

(1)「処置、手術、処方等」欄の右横の[放射線]を選択します。



(2)X線オーダー入力画面が表示されます。

先ず最初に右横のタブで[撮影種類](一般撮影・造影診断・CT/MRI)を 選択する必要があります。

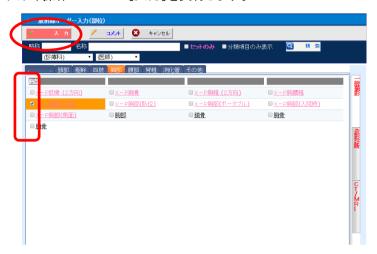
その後、必要により上部の検索条件やタブを使用してオーダーする部位を検索します。



※ここでは、撮影部位ごとに方向や条件などがプリセットされた[セット]オーダーを選択して入力する方法で説明します。

(3)1つのX線を入力する場合はそのX線をクリックします。

複数のX線を一度に入力する場合は入力したいX線のチェックボックスにチェックを入れ、操作メニューの[入力]を実行します。



(4)カルテ入力画面に戻ると選択されたX線(セット)が反映されます。



11 - X線をオーダーする

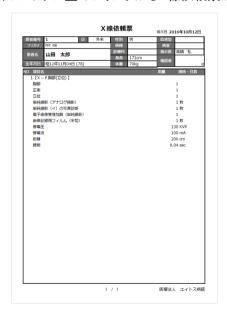
X線依頼票を発行する

カルテを保存するとオーダーの発行指示へと遷移し、その後X線依頼票が発行されます。

(1)カルテの保存時にX線オーダーを発行します。



(2)レントゲン室のプリンタからX線依頼票が発行されます。



X線の訂正オーダーを入力する

ここでは、すでに入力されたX線オーダーに対して追加または訂正して、訂正オーダーを 再発行する場合の操作手順について説明します。

(1)まず追加オーダーを入れる場合には、まず行挿入をする必要があります。 例えば顔以外の撮影方向を増やしたい場合は[顔面]のチェックボックスにチェックを 記入してから、「行挿入]を選択します。



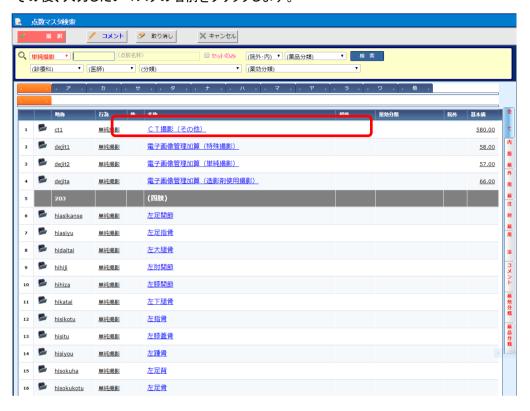
(2)するとこのように[新規入力する場合は選択してください]と下図の位置に表示されるので、下図の位置をそのままクリックします。



11 - X線をオーダーする

(3)点数マスタ画面が表示されるので、分類から使いたいXP関連のマスタを使用して 検索します。

その後、入力したいマスタの名前をクリックします。



(4)その後、カルテ画面に戻り、選択したマスタが挿入した行に入力されます。 他に変更箇所が無ければカルテを[保存]します。



(5)カルテの保存時にX線オーダーを発行確認の画面が表示されるのでそのまま[確定]を 実行します。



(6)指定されたプリンタ(主にレントゲン室)からX線依頼票(訂正)が発行されます。



X線の中止オーダーを入力する

ここではすでに発行済みのX線オーダーを中止したい場合の操作手順について説明します。 中止オーダーを実行すると、レントゲン室へ「×印(中止)」が記載された「X線依頼票」が発行されます。

(1)X線の中止は行為ごととなっています。 中止するX線の先頭行(行為行)のチェックボックスをチェックし、「中止]を実行します。



(2)選択されたX線行に取り消し線が入り、中止オーダーとして設定されます。 中止オーダーの選択がすべて終了すればカルテを保存します。

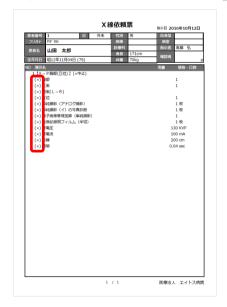


(3)カルテの保存時にX線オーダーを発行します。



(4)(中止)X線依頼票が発行されます。

中止されたオーダーには左に「(×)」が印字されます。



12- 処置をオーダーする

ここでは、カルテの「処置、手術、処方等]欄のうち、処置オーダーの入力に関して説明します。

基本的な操作方法は「処方」の入力画面と同じため、ここで説明していない基本操作に関しては「8-処方をオーダーする」を参照してください。

処置を新規に入力する

(1)「処置、手術、処方等」欄の右横の[処置]ボタンをクリックします。



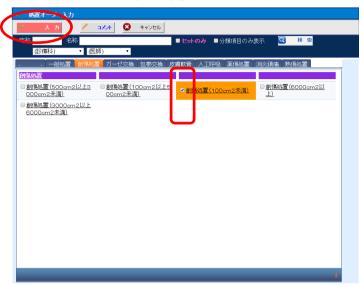
(2)処置オーダー入力画面が表示されます。

必要により上部の検索条件やタブを使用してオーダーする処置を検索します。



(3)1つの処置を入力する場合はその処置をクリックします。

複数の処置を一度に入力する場合は入力したい処置のチェックボックスにチェックを入れ、操作メニューの[入力]をクリックします。



(4)カルテ入力画面に戻ると選択された処置が反映されます。



12 - 処置をオーダーする

処置箋を発行する

カルテを保存するとオーダーの発行指示へと遷移し、その後に処置箋が発行されます。

(1)カルテの保存時に処置オーダーを発行します。



(2)処置箋が発行されます。



処置の訂正オーダーを入力する

(1)まず、処置オーダーを追加で入力する場合は新規で処置オーダーを入力する場合と同じように「処置」を実行します。



(2)処置オーダー入力画面が表示されるので、新規入力と同じように、入力する処置が 一つだけの場合は処置名をクリックしてください。

また、複数の処置を入力したい場合は、処置の左にあるチェックボックスにチェックを入れ、 [入力]を実行することによって複数の処置を同時に入力することが出来ます。



12 - 処置をオーダーする

(3) 先ほどの処置オーダー入力画面で入力した処置が表示されます。



(4)カルテの保存時に処置オーダーを発行します。



(5)(訂正)処置箋が発行されます。

処置の中止オーダーを入力する

中止オーダーを実行すると、処置室へ「×印(中止)」が記載された「処置箋」が発行されます。

(1)処置の中止は行為ごととなっています。 中止する処置の先頭行(行為行)のチェックボックスをチェックし、[中止]を実行します。

宝 印刷 前回DO | 🦣 初再診 | 🧖 自費他 | 🏂 指示日 | 🚎 定期 | 🚟 次回 | Q 処方、手術、処置等 伝票 saiahin 再診 1 _x1 処方 <u>創傷処置(100cm2未満)</u> sous 14 1 _x1 注射 hihuk6 皮膚科軟育処置(100cm2以上500cm 1 _x1 検査 (新規入力する場合は選択してください) 放射線 手術 透析

(2)選択された処置行に取り消し線が入り、中止オーダーとして設定されます。 中止オーダーの選択がすべて終了すればカルテを保存します。



12 - 処置をオーダーする

(3)カルテの保存時に処置オーダーを発行します。



(4)(中止)処置箋が発行されます。

中止されたオーダーには左に「(×)」が印字されます。

12- 処置をオーダーする

13 - リハビリをオーダーする

ここではカルテの[処置、手術、処方等]欄のうち、リハオーダーの入力に関して説明します。 基本的な操作方法は「処方」の入力画面と同じため、ここで説明していない基本操作に関しては「8-処方をオーダーする」を参照してください。

リハビリを新規に入力する

(1)「処置、手術、処方等」欄の右横の[リハ]ボタンをクリックします。



(2)リハビリオーダー入力画面が表示されます。

先ず最初に右横のタブで[指示種類](新規・変更・中止・再開・終了)を選択する 必要があります。

その後、必要により上部の検索条件やタブを使用してオーダーする部位を検索し、 依頼内容、現疾患、麻痺、特筆すべき合併症、実施内容について、該当する項目の チェックボックスにチェックを入れ、操作メニューの[入力]をクリックします。



(3)カルテ入力画面に戻ると選択されたリハビリが反映されます。

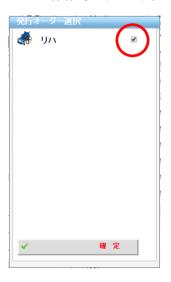


13 - リハビリをオーダーする

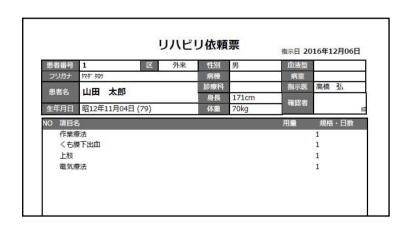
リハビリテーション依頼票を発行する

カルテを保存するとオーダーの発行指示へと遷移し、その後リハビリテーション依頼票が発行されます。

(1)カルテの保存時にリハビリオーダーを発行します。



(2)リハビリ室のプリンタからリハビリテーション依頼票が発行されます。



リハビリの訂正オーダーを入力する

(1)新しくリハビリの項目を追加する場合は、先ほどの新規入力と同じように[リハ]を選択します。 またリハビリの項目を変更する場合はオーダー名をクリックします。



(2)リハビリ関連の点数マスタ表示画面が表示されるので変更したい項目の名前をクリックします。



13 - リハビリをオーダーする

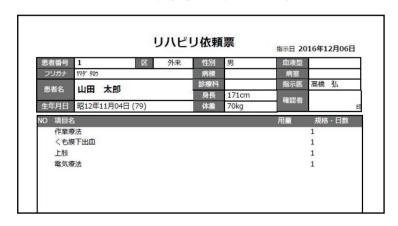
(2)選択したリ項目に変更されるので他に変更したい箇所が無ければカルテの[保存]を実行します。



(3)カルテの保存時にリハビリオーダーを発行します。



(4)(訂正)リハビリテーション依頼票が発行されます。



リハビリの中止オーダーを入力する

中止オーダーを実行すると、リハビリ室へ「×印(中止)」が記載された「リハビリテーション 依頼票」が発行されます。

(1)リハビリの中止は行為ごととなっています。

中止するリハビリの先頭行(行為行)のチェックボックスをチェックし、[中止]を実行します。



(2)選択されたリハビリ行に取り消し線が入り、中止オーダーとして設定されます。 中止オーダーの選択がすべて終了すればカルテを保存します。



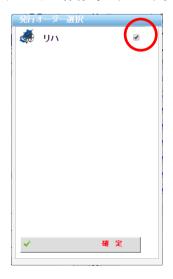
13 - リハビリをオーダーする

(3)「(右)半身」行の後(「立ち上がり訓練 リハA」行の前)に実施内容「関節可動訓練 リハA」 を追加します。

行追加の操作方法は[6-処置・処方の入力(共通)]-[オーダー行を挿入する]を参照してください。



(4)カルテの保存時にリハビリオーダーを発行します。



(5)(中止)リハビリテーション依頼票が発行されます。 中止されたオーダーには左に「(×)」が印字されます。

13- リハビリをオーダーする

14 - 在宅料や自費などを入力する

ここではカルテの[処置、手術、処方等]欄のうち、「在宅料」や「自費」などの基本的な診療情報 データの入力に関して説明します。

「処置、手術、処方等」欄の基本的な操作は「6-処置・処方の入力(共通)」を参照してください。

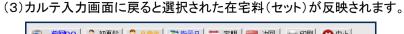
在宅料を入力する

(1)「処置、手術、処方等」欄の右横の[セット]ボタンを選択します。



(2)(オーダー)セット選択パネル画面が表示されますので[在宅 他]を選択し、その後選択したいセットの名前をクリックします。







(4)初期値の[回数]を変更する場合は[用量]をクリックします。



(5)変更したい回数をテンキー画面から入力します。



14 - 在宅料や自費などを入力する

(6)変更した回数が反映されます。

また在宅医療用セット以外の在宅薬剤セットを追加で入力したい場合も、「セット」をクリックします。



(7)再びオーダー)セット選択パネル画面が表示されますので入力したいセットをクリックして選択します。また、セット入力を入力するときはにセット名をクリックすることで1つのセットを入力することができ、複数のセットを入力する場合はセットの横にあるチェックボックスにチェックを入れ、[入力]を実行することによって選択したセットを入力することが出来ます。



(8)カルテ入力画面に戻ると選択された在宅薬剤(セット)が反映されます。



(9)初期値の[使用量]を変更する場合は[用量]を実行します。



(10)変更したい使用量をテンキー画面から入力します。



14- 在宅料や自費などを入力する

(11)変更した使用量が反映されます。



(12)入力がすべて終了すればカルテを保存します。

文書料を入力する

(1)「処方、手術、処置等」等欄の操作メニューの「自費他」ボタンをクリックします。



(2)診療(自費他)オーダー入力画面が表示されますので、必要により上部の 検索条件やタブを使用して選択するオーダーを表示させます。1つのオーダーのみを 入力する場合はオーダー名をクリックします。

複数のオーダーを一度に入力したい場合は対象オーダーのチェックボックスをチェックした後、操作メニューの[入力]を実行します。



14 - 在宅料や自費などを入力する

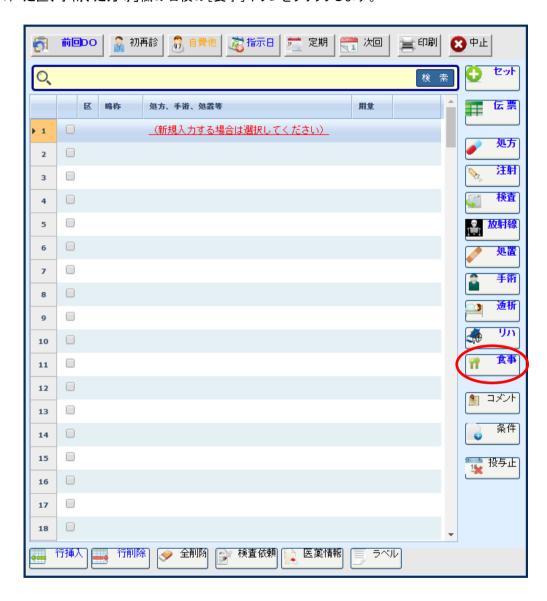
(3)カルテ入力画面に戻るとオーダーが「処方、手術、処置等」等欄に反映されます。



14- 在宅料や自費などを入力する

食事オーダーを入力する

(1)「処置、手術、処方等」欄の右横の[食事]ボタンをクリックします。



(2)「食事オーダー入力」画面が表示されます。

最初に右側のタブから[実施]を選択します。

次に食事の「開始日]および「時間]を選択します。



(3) そして[食事種別]~[補助食]を選択し、[入力]を実行します。



(4)すると選択した食事オーダーが入力されます。



(5)カルテを[保存]します。

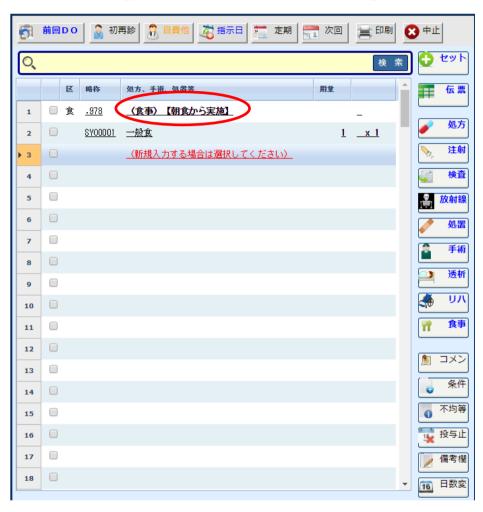


(6)発行オーダー選択画面が表示されますので[食事]にチェックを入れ、[確定]します。



変更オーダーを入力する

(1)まず食事の時間帯を変更する場合は上の(食事)朝食から実施をクリックします。



(2)分類の選択がこのように表示されるので、例えば昼食から病院食を提供する場合で あれば、昼食の右のチェックボックスにチェックを入れ確定を実施します。



(3)このように昼食から実施に変更されます。

また、食事の種類を変更する場合は下図の例であれば、一般食をクリックします。



(3) そして変更後の[食事種別]~[補助食]を選択し、[選択]を実行します。



現在提供中の食事内容を変更する場合、既に入力してある「食事の開始 オーダー」を訂正するのではなく、食事内容の変更日を開始日とする「新た な食事の開始オーダー」を入力するようにします。 (4) 先ほど選択した食事オーダーが表示されるので変更する箇所が他に無ければカルテを[保存]します。



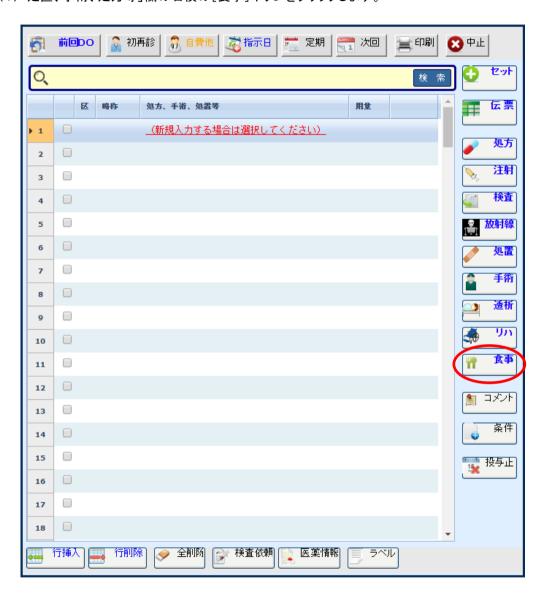
(5)発行オーダー選択画面が表示されますので[食事]にチェックを入れ、[確定]を実行します。



(6)変更された食事オーダーが印刷されます。

欠食オーダーを入力する

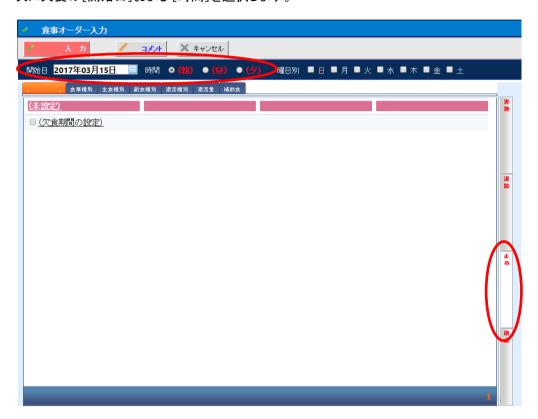
(1)「処置、手術、処方等」欄の右横の[食事]ボタンをクリックします。



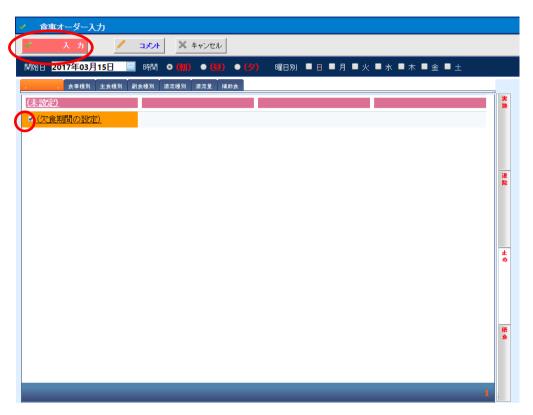
(2)「食事オーダー入力」画面が表示されます。

最初に右側のタブから[止め]を選択します。

次に欠食の[開始日]および[時間]を選択します。



(3) そして[(欠食期間の設定)]にチェックを入れ、[入力]を選択します。



(4)「欠食期間の設定」画面が表示されます。

欠食の[終了日]および[時間]を選択します。

[(実施開始オーダーを同時に入力する)]にチェックを入れておくと、欠食終了日時の次の時刻からの食事の再開オーダーが自動で作成されます。

[入力]を選択します。



(5)カルテを[保存]します。



(6)発行オーダー選択画面が表示されますので[食事]にチェックを入れ、[確定]を実行します。



(7)食事(欠食)オーダーが印刷されます。

絶食オーダーを入力する

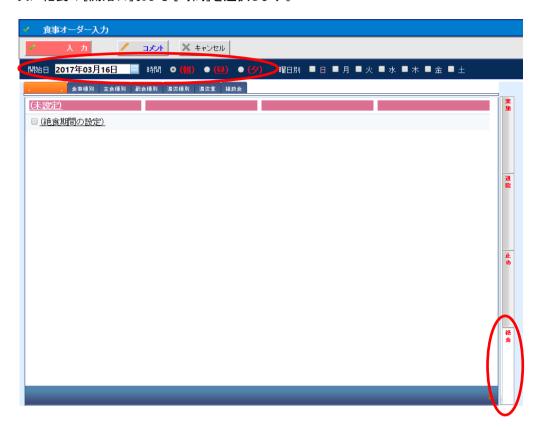
(1)「処置、手術、処方等」欄の右横の「食事」ボタンをクリックします。



(2)「食事オーダー入力」画面が表示されます。

最初に右側のタブから[絶食]を選択します。

次に絶食の[開始日]および[時間]を選択します。



(3) そして[(絶食期間の設定)]にチェックを入れ、[入力]を選択します。



(4)「欠食期間の設定」画面が表示されます。

欠食の[終了日]および[時間]を選択します。

[(実施開始オーダーを同時に入力する)]にチェックを入れておくと、欠食終了日時の次の時刻からの食事の再開オーダーが自動で作成されます。

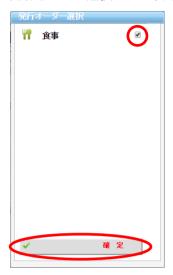
[入力]を選択します。



(5)絶食オーダーが入力されるのでカルテを[保存]します。



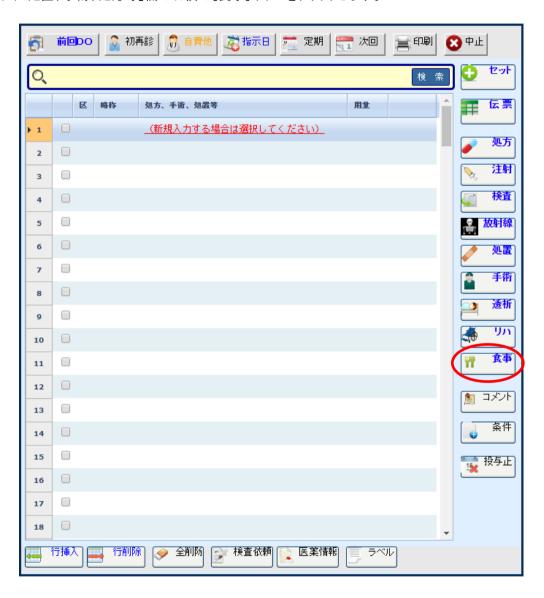
(6)発行オーダー選択画面が表示されますので[食事]にチェックを入れ、[確定]します。



(7)食事(絶食)オーダーが印刷されます。

退院オーダーを入力する

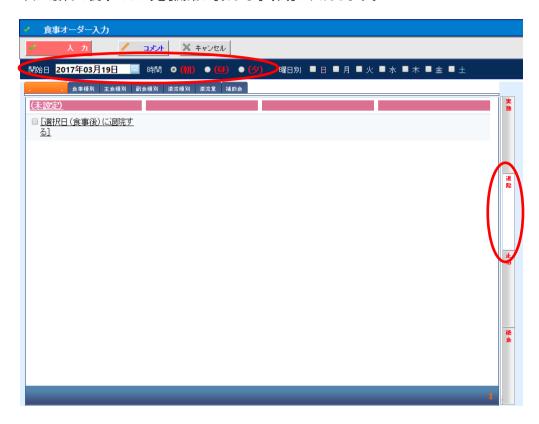
(1)「処置、手術、処方等」欄の右横の[食事]ボタンをクリックします。



(2)「食事オーダー入力」画面が表示されます。

最初に右側のタブから[退院]を選択します。

次に最終の食事の日時を[開始日]および[時間]に入力します。



(3) そして[選択日(食事後)に退院する]にチェックを入れ、[入力]を選択します。



(4)退院オーダーが入力されるのでカルテを[保存]します。



(5)発行オーダー選択画面が表示されますので[食事]にチェックを入れ、[確定]します。



(6)食事(退院)オーダーが印刷されます。